

所内研究報告
第 92 号
2021 年 3 月

「1 億総活躍社会」実現に向けた総合的研究
すべての子どもの未来を築く子ども・子育て
支援に向けた実証研究班

報告書

令和2年度

「1億総活躍社会」実現に向けた総合的研究
すべての子どもの未来を築く子ども・子育て支援に向けた実証研究

研究組織（令和2年度）

所内担当：

泉田信行（社会保障応用分析研究部部長）

藤間公太（同部第2室長）

盖 若琰（同部第4室長）

余田翔平（人口動向研究部第3室長）

所外委員：

鈴木浩之（立正大学 社会福祉学部社会福祉学科准教授）

坪井 瞳（東京成徳大学子ども学部准教授）

西本佳代（香川大学大学教育基盤センター准教授）

野田正人（立命館大学産業大学院人間科学研究科特任教授）

原田旬哉（園田学園女子大学人間教育学部准教授）

松木洋人（大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授）

山岡祐衣（東京医科歯科大学国際健康推進医学分野助教）

山口季音（至誠館大学ライフデザイン学部准教授）

研究協力者：

大月希望（東京大学大学院生）

大谷 魁（慶應義塾大学文学部生）

加藤雄大（日本大学大学院生）

土屋綾香（慶應義塾大学文学部生）

松本紅音（慶應義塾大学文学部生）

吉田千夏（日本大学大学院生）

児童相談所の「虐待相談・通告受付票」文書様式の比較研究

1 背景

近年、児童相談行政における情報共有のあり方は政策的な 이슈の 1 つであり、全国共通の情報共有システムの導入および運用に関するとりくみが進められつつある（野村総合研究所 2020）。その背景には、移管から子どもの死亡に至った前述のケースを受け、「児童虐待防止対策の抜本的強化について」（平成 31 年 3 月 19 日児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議決定）において、情報共有をより効率的・効果的に行うため、全国統一の情報共有システムの開発を行うこととされたことがある。

しかしながら、そもそも全国の児童相談所でどのように情報が記録されているのかについては、十分には把握されていない。児童相談所が記録に用いるものとしては、「相談記録」あるいは「ケース記録」と呼ばれる文書があるが、その様式が児童相談所によって異なっている可能性がある。実際、8 か所の児童相談所の児童記録票のフェイス項目を行った研究からは、8 か所という限定的なケースの間の比較でもその様式が非常に多様であること、全国の児童相談所に比較対象を広げたら更なる多様性が明らかになりうることが示唆されている（藤間 2020）。

以上の背景から、全国の児童相談所を対象とした記録文書様式の比較は、政策的にも学術的にも重要な課題であると位置づけることができる。

2 調査の概要

2.1 データの収集方法

前節で示した背景を踏まえ、国立社会保障・人口問題研究所では、全国の児童相談所より児童虐待相談記録文書様式の収集を行った。この調査は、『「1 億総活躍社会」実現に向けた総合的研究』内の、「すべての子どもの未来を築く子ども・子育て支援に向けた実証研究」にて企画、実施された。

児童虐待相談記録文書様式の提供依頼は、2020 年 4 月 1 日時点で厚生労働省ウェブサイト「全国児童相談所一覧」に掲載されていた児童相談所より収集された。全 219 カ所のうち、本調査に先行した調査研究事業にて虐待相談記録文書様式の提供を受けていた 9 カ所の児童相談所を除外した、210 カ所の児童相談所に提供依頼を行った。そのうち、173 カ所の児童相談所より、文書様式の提供を受けた（回収率 82.4%）。なお、自治体単位で見ると、67 の自治体に依頼し、64 の自治体から回答を得た（回答率 95.5%）¹。

依頼は筆者の所属機関長の公印付きの文書で行った。冒頭で、研究の趣旨および結果の公

¹ 自治体単位での回答率を示しているのは、「自治体内のすべての児童相談所で同一の様式を使っているため」という理由で、1 つの児童相談所から自治体を代表しての回答を得たケースが複数存在したためである。

表は、機関名が特定できる形では行わないこと、問い合わせ先を示した上で、「a) 児童記録票と相談受付票それぞれの様式（未記入）」および「b) a」に加え、各ケースのファイルに必ず綴じることと定められている文書があれば、その各様式（未記入）」の2点について提供を依頼した。依頼文書には、後述する研究倫理審査委員会による承認通知書も添付した。

2.2 分析の対象

本稿では、収集した文書様式の中でも「児童虐待通告・相談受付票」に焦点化して分析を行う。その理由は、この文書が初動およびのちの調査方針に影響を与える重要な書類であると解釈したためである。

「子ども虐待対応の手引き」（厚生労働省雇用均等児童家庭局総務課 2013）においては、通告・相談があった場の手順が定められている。まず、「虐待相談・通告受付票に記入した後、速やかに緊急受理会議を開催する」。緊急受理会議においては、虐待相談・通告受付票にもとづき、(1) 虐待の確認と判断、(2) 緊急性の判断、(3) 担当者の決定、(4) 初期調査の内容、の4点を検討する。初期調査の内容としては、「虐待通告の正確な内容把握と事実の確認（虐待相談・通告受付票情報の補完）」「危機状況の評価と緊急保護の判断」「関係する機関の確認と調査依頼および役割分担」の3つが挙げられている。緊急受理会議後については、以下のように記されている

(1) 緊急を要すると判断される事例では、その場にいる職員で分担して対応を開始する。一時保護が必要と判断された場合には、現場に向かう役割・一時保護の段取りをする役割・調査をする役割・警察等他機関との調整をする役割などを分担して、即刻対応を開始する。この場合、所長等の管理職の1人は児童相談所に待機し、職員からの連絡を待つとともに、必要な指示を与える。

子どもの身柄の保護を優先し、保護した後早急に保護者等から事情を聴取し、一時保護あるいは入院についての相談、説得を行う。

なお、市町村においては、至急、児童相談所に送致することとする。

(2) 通告の段階で得られた情報では緊急性がないと判断できる場合や、情報が不足する場合は、その後の調査方針と調査担当者を決定する。調査しなければならない項目を列挙し、誰がどの機関に何を聞くかを明確にして分担する。

(3) 緊急受理会議で決定した内容は、受理会議録に記入し、速やかに所長などの責任者の決裁を受ける。

(4) 受理会議録は2部作成し、一部は受理会議簿に、一部は児童記録票に編綴する。

(厚生労働省雇用均等児童家庭局総務課 2013: 40)

この記述より、児童虐待通告・相談受付票に記録される情報は、児童相談所の初動およびその後の調査、判断にとって重要な役割を果たすものであること、ひいては虐待を受けた子ども

もの状況を左右するものであることが読み取れる。そこで本報告書では、児童虐待通告・相談受付票を分析対象とする。当該文書の様式が添付されていなかったケースがあったため、計 53 自治体分の様式が対象となる。

2.3 倫理的配慮

調査、研究の実施については、国立社会保障・人口問題研究所の研究倫理審査委員会より承認を得ている（承認日 2020 年 5 月 28 日、承認番号 IPSS-IBRA#20001）。なお、次節において示される比較表においては、部課名など、自治体や児童相談所の特定につながる情報は、内容や性質を損なわない範囲で改変、秘匿を施している。

3 結果

表 1 に、厚生労働省が「子ども虐待対応の手引き」で提示している「虐待相談・通告受付票」のフォーマットを、表 2 に、今回収集した文書様式に設定されていた項目をまとめたものを示す。

表 2（文献の後に掲示）は、厚生労働省のフォーマットに示されている項目と、そうでない項目を分けて表側においたうえで、各児童相談所の様式内にその項目が設けられている場合に○をつけている。若干文言が違うものや、項目、欄の階層構造が違っているものについては、○の下に可能な範囲で注釈を加えている。この際、重複しているものについては、集約している。たとえば「安全確認」という項目は、独立した欄はして設定されている場合と、ほかの欄のサブ項目として設定されている場合があったが、そうしたケースでは、サブ項目として表側に示すことはせず、独立項目の行に○をつけたうえで、「※○○欄のサブ項目」といった注釈を付している。ただし、欄や項目の順番等については、すべてを記すと煩雑になりすぎたため、その違いについての注釈は付していない。実際には、欄、項目の順番も、設置自治体によってかなり異なっていたことを付言しておく。

表 2 を一見して明らかなように、虐待相談・通告受付票の様式は、設置自治体によって相違に異なっている。表 1 に示した厚生労働省のフォーマット通りとなっているところはほとんどなく、また、オリジナルに設置された項目に関しても、児童相談所間でのばらつきは小さくない。

先行研究でも指摘されている通り、一方では文書の多様性は当該自治体の状況が各児童相談所の様式に適切に反映された結果、言い換えれば各設置自治体の努力や工夫の結果とも考えられ、一概には否定されるべきものではない。他方で、(1) ケース移管時の児童相談所間での情報共有に混乱が生じること、(2) 国が情報収集をする際の児童相談所にかかる負担に濃淡が生じること、といった問題が生じる可能性も否定できない（藤間 2020）。さらに、先述の通り虐待相談・通告受付票が児童相談所の初動およびその後の動きに少なくない影響を与えうることを踏まえるならば、同様の虐待を受けても、居住している自治体によって子どもが受ける対応が大きく変わってきてしまうという問題も考えられる。

本報告書では全国の児童相談所より収集した虐待相談・通告受付票から作成された設定項目の比較表にもとづき、項目が非常に多様であることを示した。この多様性をどのように評価、解釈すべきか、全国レベルで様式を統一するならば、どの部分を統一し、どの程度の多様性を許容すべきかといった点に関する検討が、次の研究課題となる。

表1 厚生労働省が提示している「虐待相談・通告受付票」の参考様式

受理年月日		平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分	
子ども	ふりがな 氏名		
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 () 歳 男・女	
	住 所		
	就学状況	未就学 / 保・幼・小・中・高校 年 組 担任名 () 出席状況： 良好 欠席がち 不登校状態	
保護者	ふりがな 氏名		
	職 業		
	続柄年齢	続柄 () 年齢 (歳)	続柄 () 年齢 (歳)
	住 所	電 話	
虐待内容		<ul style="list-style-type: none"> ・誰から ・いつから ・頻度は ・どんなふうに 	
虐待の種類		(主◎ 従○：身体的／性的／ネグレクト／心理的)	
子どもの状況		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の居場所： ・保育所等通園の状況： 	
家庭の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・家族内の協力者 () ・家族以外の協力者 () ・きょうだいの有無 有 ・ 無 ・同居家族 	
情報源と保護者の了解		<ul style="list-style-type: none"> ・通告者は 実際に目撃している・悲鳴や音等を聞いて推測した ・通告者は 関係者 () から聞いた ・保護者は この通告を (承知・拒否・知らせていない) 	
通告者	氏 名		
	住 所	電 話	
	関 係	家族・近隣・学校・保育所・病院・保健所・児童委員・警察	
	通告意図	子どもの保護 ・ 調査 ・ 相談	
	調査協力	調査協力 (諾 ・ 否) 当所からの連絡 (諾 ・ 否)	
通告者への対応		<ul style="list-style-type: none"> ・自機関で実態把握する ・その他 () 	
決 裁		年 月 日	

出典) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課 (2013: 38)

付記

本稿執筆に際しては、所外委員各位、特に野田委員と鈴木委員からは貴重な助言を受けた。また、データを整理する過程では、研究協力者の大月、加藤、吉田の3氏から大きな助けを得た。記して感謝する。ただし、本報告書の文責、瑕疵はすべて藤間に帰属する。

文献

厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課、2013、「子ども虐待対応の手引き（平成25年8月改正版）」（https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/dl/120502_11.pdf、2020年3月19日最終確認）。

野村総合研究所、2020、「令和元年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業 都道府県間における要保護児童等の情報共有システムの構築に関する調査研究 報告書」（https://www.nri.com/-/media/Corporate/jp/Files/PDF/knowledge/report/cc/social_security/20200605_2_report_1.pdf?la=ja-JP&hash=1C3146A4279663A4EFF12E149B3980170CB5E60D、2020年3月19日最終確認）。

藤間公太、2020、「今後の児童虐待対応に向けて」遠藤久夫・野田正人・藤間公太監修、国立社会保障・人口問題研究所編『児童相談所の役割と課題——ケース記録から読み解く支援・連携・協働』東京大学出版会、pp. 185-194。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※氏名だけでなく、職も記載	○ ※「面接 電話・ホットライン その他」というチェック欄あり	
受理年月日			
元号年月日	○	○	○
曜日	○	○	○
午前・午後 時 分	○	○	○
子ども		※「被虐待児童」という項目名	※「こども」という項目名
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日			
元号年月日	○	○	○
() 歳	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
男・女	○	○	○
住所	○	○ ※「TEL」という項目有り	○
就学状況			
未就学／保・ 幼・小・中・高校	○	○	○
年 組	○		○
担任名	○		○
出席状況：良 好 欠席がち 不登 校状態	○		○
保護者（各2欄）			
氏名・ふりがな	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
職業	○	○	○
続柄・年齢	○	○ ※「生年月日」と「続柄」という 独立した項目立て	○
住所	○		
電話	○		○
虐待内容	○ ※自由記述する形式		
誰から		○	○
いつから		○	○
頻度は		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		2	3
どんなふうに		○	○
虐待の種類			
主・従	○		○
身体的	○	○	○
性的	※選択肢ではなく、自由記述する形式	○	○
ネグレクト		○	○
心理的		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
子どもの状況	○ ※自由記述する形式		
現在の居場所			○
保育所等通園の状況			○
家庭の状況	○ ※自由記述する形式	○ ※自由記述する形式	
家族内の協力者			○
家族以外の協力者			○
きょうだいの有無			○
同居家族			○ ※加えて、「DV被害等」という欄が設定されている

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
情報源と保護者の了解	○ ※自由記述する形式		
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○ ※「安否の確認ができない」とい う選択肢あり	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた		○ ※上の項目と同一の欄に配置	○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）		○	○
通告者			
氏名	○	○ ※「匿名希望」というチェック欄 あり	○
住所・電話	○ ※加えて、「電話の種別」という 項目あり	○	○ ※加えて、「電話の種別」という 項目あり
関係			
家族	○		○
近隣	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
学校	○	○	○
保育所	○	○	○
病院	○	○	○
保健所	○	○	○
児童委員	○	○	○
警察	○	○ ※この他にも、関係機関名の選択肢をかなり細かく設定。全26項目にわたる	○
通告意図			
子どもの保護	○	○	○
調査	○	○	○
相談	○	○	○
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
調査協力 (諾・否)	○	○	○
当所からの連絡 (諾・否)	○	○	○
通告者への対応	○ ※自由記述する形式		
自機関で実態把握 する			○ ※「自機関」ではなく「児童相談 所」と表記
その他 ()			○ ※加えて「警察への情報提供 (緊急/定期)」という欄が設定されている。
決済			
年月日	○ ※各職位押印欄あり	○ ※各職位押印欄あり	○ ※「所長決裁」という項目名
厚労省の様式にはない項目			
虐待者		○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
受理会議			
開催年月日		○	
対応方針		○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
出席者		○	
新規・（ ）回目			○
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック 有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住 基・検診・予防接 種）			
所属調査（保・ 幼・小・中・高校・ その他）			
警察への情報提供			○ ※「通告者への対応」欄にサブ項 目として設定
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・ その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・ 記載			
虐待認定			
種別 主・ 従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	1	2	3
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※「受付者職・氏名」という項目名	○ ※氏名だけではなく、職も記載	○ ※「受理者氏名」という項目名
受理年月日			※「受理者氏名」と同様、欄外に配置
元号年月日	○	○	○
曜日	○	○	○
午前・午後 時分	○ ※「文書」「電話」「来所」というチェック項目あり	○	○ ※「電話・来所」という選択肢あり
子ども	※「被虐待児童」という項目名。以下に加え、「集団生活」「健康状態」というサブ項目が設定されている。		※「被虐待児童」という欄名
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日			
元号年月日	○	○	○
() 歳	○	○ ※月齢も記載	○ ※月齢も記載

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
男・女	○	○	○
住所	○	○	○
就学状況			※「集団所属」という欄名。最初に「有・無」という選択肢が配置されている
未就学／保・幼・小・中・高校		○ ※保育所、幼稚園、学校の名前を記載する欄があり	○ ※保育所、幼稚園、学校の名前を記載する欄があり
年 組		○	○
担任名		○	○
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態		○	
保護者（各2欄）			※「実・養・継 父」・「実・養・継 母」というように、父母であることを前提に欄が作られている。
氏名・ふりがな	○ ※「世帯等状況」欄に「氏名」を記載。「ふりがな」はなし	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
職業	○ ※「世帯等状況」欄に「職業・所属」を記載	○	○
続柄・年齢	○ ※「世帯等状況」欄に「続柄」「生年月日（年齢）」を記載		○ 年齢のみ。上述のように父母であることを前提に作られている。
住所		○	
電話		○ ※加えて「携帯電話」という欄が設定されている	○
虐待内容		○※自由記述する形式	
誰から	○		○
いつから	○		○
頻度は	○		○ ※「程度、頻度は？」という聞き方

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4		6
どんなふうに	○ ※加えて「どのような状況」「その他参考になる事項」という項目あり		○ ※このほかにも「誰がみた？（誰から聞いた？）」「直近ではいつみた？」「この内容を認知した経緯は？」「子どもは今どこで誰といる？」「子どもから話を聞いた？」「今日の連絡のきっかけは？」「アザやキズ（部位は？状態は？大きさは？どうしてできた？画像有無は？）」「泣き声、怒鳴り声（今聞こえる？性別・年齢？誰が何を言っている？どのくらい続く？聞こえる時間帯は？物音は聞こえる？親子を見たことある？清潔？家や部屋の特定情報は？）」と、細かく各内容が指示されている。
虐待の種類		○ ※自由記述する形式	
主・従			
身体的	○		
性的	○		
ネグレクト	○		
心理的	○		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
子どもの状況	※下記に加え、「保護者への拒否感」「様子」「身体症状」というサブ項目が設定されている。	○※自由記述する形式	
現在の居場所	○ ※「今どこにいるのか」という欄名		
保育所等通園の状況			
家庭の状況		○ ※自由記述する形式	※「家族構成および家庭状況」という名前の自由記述欄
家族内の協力者			
家族以外の協力者			
きょうだいの有無			
同居家族			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
情報源と保護者の了解	※「通告者」欄のサブ項目として設定されている	○ ※自由記述する形式	※「通告者」の欄のサブ項目として設定されている
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○ ※2つの独立した選択肢として設定されている。加えて「通告者自身が虐待をしている」「通告者自身が虐待を受けている」という選択肢もある。		○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた			○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○ ※「保護者の状況」という欄のサブ項目として設定されている。さらに、「保護者が通告されたことを知っている場合）保護者は虐待について知っている／否定している」というチェック項目あり。		○
通告者			
氏名	○	○	○
住所・電話		○ ※加えて、「電話の種別」という項目あり	○
関係	○ ※自由記述する形式		
家族		○	○ ※具体的に誰かを書く欄あり
近隣		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		5	6
学校		○	○
保育所		○	○
病院		○	○
保健所		○	
児童委員		○	○ ※「民生・児童委員」という表記
警察		○	○ ※このほかにも「福祉事務所（送致者： ）」「幼稚園」「親族」「その他（ ）」という選択肢がある
通告意図	○ ※自由記述する形式		※サブ項目ではなく独立した項目として設定されている
子どもの保護		○	○
調査		○	○
相談		○	○
調査協力			※サブ項目ではなく独立した項目として設定されている

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
調査協力 (諾・否)	○ ※「不明」というチェック項目もある	○	○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※「可能」「不可能」という項目名	○	○
通告者への対応	※「当所の対応」という欄名	○※自由記述する形式	○ ※「児童相談所の対応」という欄名で、「受理会議」と併せて自由記述する形式。最後に「調査・緊急一時保護・一時保護・委託一時保護（ ））」という選択肢が設けられている。
自機関で実態把握する	○ ※「自機関」ではなく「当所」という表記。さらに、サブ項目として「家庭訪問」「学校・保育所(幼稚園)等訪問」「市町村関係課訪問」「通告者への確認」「その他」というチェック欄あり。		
その他（ ）	○ ※加えて「市町村での実態把握を依頼する」「通告者への支援を行う」という選択肢が設定されている。		
決済			
年月日	○ ※各職位押印欄あり	○ ※各職位押印欄あり	
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「主な虐待者」という独立した欄に「氏名・ふりがな」「児童との続柄」「生年月日（ 歳）」「住所」「電話番号」「性格（短気・暴力的・無気・その他）」「行動生活（引きこもり・アルコール・ギャンブル・生活苦・DV）」「その他（子どもへの拒否感・相談機関への拒否感・虐待への認識）」を記載、選択。		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
受理会議			<p>○</p> <p>※「児童相談所の対応」という欄名で、「通告者への対応」と併せて自由記述する形式。最後に「調査・緊急一時保護・一時保護・委託一時保護（ ））」という選択肢が設けられている。</p>
開催年月日	○		
対応方針	<p>○</p> <p>※「方針」という欄名</p>		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	
出席者	<p style="text-align: center;">○</p> <p>※加えて「安全確認」という欄で「確認者」「日時」記載。「担当職員」問いう欄も設定されている。</p>		
新規・（ ）回目	<p style="text-align: center;">○</p> <p>※「新・再・継・未」という選択肢に丸をつける形式</p>		
ケース番号	<p style="text-align: center;">○</p>		
世帯等状況			
家族関係図	<p style="text-align: center;">○</p>		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
世帯特記事項	○		
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック 有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住 基・検診・予防接 種）			
所属調査（保・ 幼・小・中・高校・ その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	4	5	6
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※「受理者氏名」という項目名	○ ※「受付者」という項目名	○ ※「受付者」と「担当司」を両方とも記載。
受理年月日	○※「受理者氏名」と同様、欄外に配置	※欄外に配置	
元号年月日	○	○ ※元号はなし	○ ※「通告から48時間後」の元号年月日時分も併記。
曜日	○		○
午前・午後 時分	○ ※「電話・来所」という選択肢あり		○ ※「電話・来所・その他」という選択肢あり。また、「189」による通告か否かを記載する欄が枠外にある。
子ども	※「被虐待児」という欄名。2人書けるようになっている。		※「被虐待児童」という項目名
氏名・ふりがな	○ ※ふりがなはなし	○ ※性別も記載	○ ※性別も記載
生年月日			
元号年月日		○ ※元号はなし。	○
() 歳	○	○ ※元号年月日の欄に記載。月齢も併記。	○ ※月齢も併記。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
男・女	○ ※学年も記載するようになっている	○ ※氏名の欄に記載	○ ※氏名の欄に記載
住所	○ ※電話番号も記載	○	○
就学状況			
未就学／保・幼・小・中・高校		○	○ ※「未就学」ではなく「所属無し」という選択肢名。加えて「その他（ ）」という選択肢もある。
年 組		○	○
担任名		○	○ ※所属の「名称」および「連絡先（電話、対応者）」も併記
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態			
保護者（各2欄）			※「保護者の家族状況等」という欄名。父母／その他（ ）で続柄を冒頭に記載。父母の場合、実父母、養継父母、内夫妻の別を選択肢で記入。
氏名・ふりがな	○ ※ふりがなは無し		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
職業	○ ※「氏名」と同一欄内に記載		○
続柄・年齢	○ ※「続柄」のみを「氏名」と同一欄内に記載		○ ※生年月日と年齢を記載。続柄は本欄冒頭に記載。
住所			○
電話			○ ※父母それぞれの携帯電話番号を記載する欄も有り。加えて、すべての同居家族（きょうだいの場合は人数も）選択肢で記載。
虐待内容	※「虐待の現在（直近）の状況」と「過去の虐待の状況」の2項目が設定されている。記載内容は、前者が「いつの事・最後は」「どこで」「誰が」「どのように」「子どもの様子」、後者が「いつ頃から」「どこで」「誰が」「どのように（頻度）」「子どもの様子」を、それぞれ自由記述する形式。	※「虐待の状況・内容」という項目名	
誰から		○ ※「誰が（主な虐待者）」という欄名	
いつから		○ ※「いつ頃から」という欄名	○
頻度は		○ ※「どのぐらいの頻度で（ほぼ毎日・週 回程度・月 回程度）」という記載方法	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		8	9
どんなふうに		○ ※「具体的な内容」という欄名で、自由記述する形式。	○ ※「どのように」と表記。加えて、「性別／何歳ぐらいの／何時頃／何分位？」も書くよう明記されている。さらに「身柄通告・書類通告・情報提供等」「状況提供・援助要請（助言／同行訪問・調査／ケース会議参加／その他／送致）」という選択肢も設けられている。
虐待の種類		※「虐待の状況内容」の「何を」というサブ項目として設定	
主・従	○		
身体的	○	○	○
性的	○	○	○
ネグレクト	○	○	○ ※「ネグレクト（棄児・置き去り・身体・心理・性・登校登園の禁止）」と表記
心理的	○	○	○ ※「心理的（暴力目撃等）」と記載。加えて、「不明」という選択肢あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
子どもの状況			
現在の居場所			
保育所等通園の状況			
家庭の状況		※「児童・および家族の状況」という欄名	
家族内の協力者			
家族以外の協力者			
きょうだいの有無			
同居家族		○ ※「続柄」「氏名」「生年月日」「職業／就学状況」を記載	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○ ※それぞれ独立した選択肢として 設定	
通告者は 関係 者()から 聞いた		○ ※「人から聞いた」という選択肢 で、具体的な名前は記入しない。 また、「子どもの様子から」とい う選択肢もある。	
保護者は この 通告を(承知・拒 否・知らせていな い)		○ ※「通告者 通告機関等」の欄に 「通告を知らせている人(無・ 有:虐待者・子ども・その他)」 というサブ項目で設定されてい る。	
通告者	※「通告者 発見者 非発見者」 という項目名	※「通告者 通告機関等」という 項目名	
氏名	○ ※性別も合わせて記載	○ ※「氏名・機関名」という項目名	○ ※「男・女/ 歳代/匿名希望 /調査協力(可・否)/結果連絡 希望(有・無)」を併記。
住所・電話	○	○ ※それぞれ独立した項目とされて いる。「電話」の欄には各職位名 も記載。	○ ※「内線」も併記。
関係	○ ※自由記述する形式		
家族			○ ※家族の誰であるかを併記
近隣			○ ※「近隣知人」という選択肢名

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		8	9
学校			○
保育所			○
病院			○
保健所			○
児童委員			○ ※「民生児童委員」という選択肢名
警察			○ ※加えて、「本人」「親戚（）」「幼稚園」「認定こども園」「区市町村（子供家庭支援センター・福祉事務所・保健センター・学童クラブ・放課後等児童デイ）」「児童相談所（）」「家裁」「その他（きょうだい受理）」という選択肢あり
通告意図	※「通告者が求めるものは何か？」という欄名で、「虐待状況からの早急な分離」「子どもの安全確認」「保護者指導」「事実確認（疑い）」「その他」というチェック項目が設定されている。	※「通告者 通告機関等」の欄に記載	
子どもの保護		○ ※「一時保護」という選択肢名	
調査		○ ※「調査（子どもの安全確認）」という選択肢名	
相談		○ ※加えて、「情報提供」という選択肢もあり	
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
調査協力 (諾・否)		○ ※「諾・否」ではなく「了・否」 という選択肢	
当所からの連絡 (諾・否)	○ 「通告者 発見者 非発見者」欄 のサブ項目として設定されている	○ ※「諾・否」ではなく「了・否」 という選択肢。加えて、「通告者 を虐待者に明かすこと(了・ 否)」という欄もある。	
通告者への対応			
自機関で実態把握 する			
その他 ()			
決済			
年月日			○ ※「確認欄」という欄名押印欄有 り。
厚労省の様式にはな い項目			
虐待者			○ ※「虐待の状況」という欄の冒頭 で「父(実父・養継父・内夫)」「 母(実母・養継母・内妻)」「 その他()」「不明」を 選択

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
受理会議		※「緊急受理会議」という項目名	
開催年月日		○	
対応方針			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
出席者			
新規・（ ）回目			
ケース番号		○ ※「受付番号」という項目名	
世帯等状況			
家族関係図	○ ※「ジェノグラム【聞取り】」という独立した項目		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
世帯特記事項		○ ※「その他（所属集団での様子、きょうだいへの虐待の有無など）」という項目名。加えて、「縁故者（家庭に頻繁に出入りしている人や支援者など）」「関わりのある機関（福祉事務所：（生保受給・その他手当等）、民生・児童委員、主任児童委員、保健センター（検査受診歴等）、病院（ ）、警察、児童相談所（一時保護歴・施設入所歴・指導中他）、その他（ ））」を記載する欄あり	
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況	○		
他に状況を知る者は	○		
受理者の虐待軽重印象			
深刻	○		
重度	○		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
中度	○		
軽度	○		
危険薄い	○		
調査確認の緊急度	○		
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）	○		
住居形態			
階	○	○ ※「児童および家族の状況」という欄内に「独立家屋 集合住宅（階）」というサブ項目として設定	○ ※「保護者の家族状況等」の欄で「集合住宅（階建て 階）」「一戸建て」「その他（ ）」を選択
オートロック有・無	○		
戸建て・公営住・マンション・アパート名	○	○ ※「児童および家族の状況」という欄内に「独立家屋 集合住宅（階）」というサブ項目として設定	○ ※「保護者の家族状況等」の欄で「集合住宅（階建て 階）」「一戸建て」「その他（ ）」を選択
本籍地		○	
備考		○ ※「確認済事項（住民票、乳幼児検診の状況・所属集団での状況・生活保護の状況）」などを記載する欄として設定されている。	○
生活保護受給			○ ※「保護者の家族状況等」の欄で「あり・なし」を選択
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住 基・検診・予防接 種）			
所属調査（保・ 幼・小・中・高校・ その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()			
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	7	8	9
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※加えて「No.」「虐待No.」「市町村」を欄外に記載	○ ※「受付者」という項目名	○ ※「聴取者」という項目名。 「ケース番号」「種別」「処理補足」を併記
受理年月日			○ ※自由記述する形式
元号年月日	○	○	
曜日	○	○	
午前・午後 時分	○	○ ※24時間表示	
子ども	※4人まで記載可能	※「被虐待児童」という項目名。3人まで記載可能。	※「被虐待児童」という項目名
氏名・ふりがな	○	○ ※「障害：有・無（）」も併記。	○
生年月日			
元号年月日	○	○	○
() 歳	○	○ ※「身長」「体重」も併記	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
男・女	○ ※加えて、「幼・保・認・小・中・高」を選択肢、学年を記入	○	
住所	○ ※「電話」も併記	○ ※「電話」「独立家屋・集合住宅（ ）階」も併記	○ ※「TEL」も併記
就学状況			○ ※自由記述する形式
未就学／保・幼・小・中・高校	○ ※「子ども」の欄に「幼・保・認・小・中・高」を選択肢、学年を記入	○ ※所属名も記入	
年 組	○ ※「子ども」の欄に「幼・保・認・小・中・高」を選択肢、学年を記入	○	
担任名			
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態		○	
保護者（各2欄）			
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし。「続柄」も併記	○ ※続柄も併記	○ ※続柄も併記

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
職業	○	○ ※収入も併記	○
続柄・年齢	○ ※生年月日も併記。「続柄」は「氏名」欄に記載。	○ ※氏名欄に記載。加えて、生年月日および年齢と、生活保護の有無を記載する欄有り	○ ※生年月日も併記。加えて「住居状況」という欄がある
住所	○		
電話	○		
虐待内容		※「虐待の種類及び内容」という欄名	○ ※「虐待内容」という自由記述する欄が設定されている
誰から	○	○ ※「主な虐待者」と「主な虐待者の心身の状況」を記入する形式	
いつから	○	○	
頻度は	○	○ ※「ほぼ毎日・3日に1回程度・週1回・月1回・他」から選択	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11
どんなふうに	○	○ ※「具体的な内容」を自由記述する形式
虐待の種類		※「虐待の種類及び内容」という欄名
主・従	○	○
身体的	○	○
性的	○	○
ネグレクト	○ ※「登校禁止」というチェック欄有り。	○
心理的	○ ※「暴力の目撃等」というチェック欄有り。	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
子どもの状況			
現在の居場所	○	○ ※「被虐待児童」欄に記入	
保育所等通園の状況	○		
家庭の状況			○ ※「家族構成」と「家庭の状況」について、それぞれ自由記述する欄が設けられている
家族内の協力者	○	○	
家族以外の協力者	○	○	
きょうだいの有無	○		
同居家族	○ ※加えて「DV被害等」という記載欄有り。	○ ※「家族構成（ジェノグラム）」を自由記述する形式。加えて、「近隣の風評等」を記入する欄がある	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○	○ ※「虐待の種類及び内容」欄に記 入	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた	○	○ ※「虐待の種類及び内容」欄に記 入	○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○	○ ※「保護者の了解」という独立し た項目として設定されている	○
通告者			
氏名	○	○ ※「所属・職名等」を併記	○
住所・電話	○	○	○ ※「電話」はなし
関係			※自由記述する形式
家族	○	○ ※「虐待者本人・虐待者以外： 」という選択肢が併記	
近隣	○ ※「近隣知人」という選択肢名	○ ※「近隣・知人」という選択肢名	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	
学校	○	○ ※「幼稚園・学校・教育委員会等」という選択肢名	
保育所		○ ※「保育所・児福施設・指定発達支援医療機関」という選択肢名	
病院	○ ※「医療機関」という選択肢名	○ ※「保健所・医療機関」という選択肢名	
保健所		○ ※「保健所・医療機関」という選択肢名	
児童委員		○ ※「通告の仲介を含む」とされている	
警察	○ ※加えて「市福祉事務所」「認定こども園」という選択肢あり	○ ※「警察等」という選択肢名。加えて「都道府県・指定都市等（児童相談所・福祉事務所・保健C・その他）」「市町村（福祉事務所・児童委員・保健C・その他）」「児童家庭支援C」「認定こども園」「家庭裁判所」「里親」「親戚」「児童本人」「その他」という選択肢あり	
通告意図			○ ※自由記述する形式
子どもの保護	○	○	
調査	○	○	
相談	○	○ ※加えて「情報提供」という選択肢あり	
調査協力			○ ※自由記述する形式

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	
調査協力 (諾・否)	○	○	
当所からの連絡 (諾・否)	○	○ ※加えて「通告経路()→()→()→当所」という記載欄が「通告者」内に設定されている	
通告者への対応			○ ※自由記述する形式
自機関で実態把握 する		○ ※「自機関」ではなく「児童相談所」と表記	
その他()		○ ※「自機関」ではなく「児童相談所」と表記	
決済			○
年月日			※「処理内容」「処理年月日」を記す欄あり。押印欄は様式の冒頭。
厚労省の様式にはない項目			
虐待者			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
受理会議	※「新規受理」「再開受理」「経過報告」を選択した上で、内容を自由記述する形式。	※「児童虐待相談・通告受理会議記録簿」という別様式に詳細を記入する形式	
開催年月日			
対応方針			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	11	12
出席者		
新規・（ ）回目		
ケース番号		
世帯等状況		
家族関係図		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			※「保護者」欄に自由記述する形式
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住 基・検診・予防接 種）			
所属調査（保・ 幼・小・中・高校・ その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路		○ ※「通告経路 () → () → () →当所」という記載欄が「通告 者」内に設定されている	
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	10	11	12
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※「受理者」という項目名。「受理日時」を併記。	○	○ ※欄外に「(新規・再開)」「(電話・来庁)」「ケースNo.」という欄あり
受理年月日	○ ※「受理者」と併せて欄外に記載		
元号年月日		○	○
曜日		○	○
午前・午後 時 分		○	○
子ども	※「被虐待児童」という項目名		※「被虐待児」という項目名
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日	※自由記述する形式		
元号年月日		○	○
() 歳		○ ※月齢も記載	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
男・女	※自由記述する形式	○	○
住所	○ ※加えて「郵便番号」という欄もある	○	○ ※「電話」も併記
就学状況			
未就学／保・幼・小・中・高校		○	○ ※所属名も併記
年 組	○ ※「学年」という項目名	○	○ ※「組」はなし
担任名	○	○	
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態	※加えて「学校等」「TEL」という欄もある	○	
保護者（各2欄）			※1欄のみ
氏名・ふりがな		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
職業		○	○
続柄・年齢		○	○ ※「続柄」「生年月日」というそれぞれ独立した項目。「生年月日」欄に年齢を記載。
住所		○	
電話		○	
虐待内容	○ ※自由記述する形式	○ ※自由記述する形式	※「虐待状況及び家族の状況」という欄名
誰から			○
いつから			○
頻度は			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番			15
どんなふうに			○ ※「どうされた」という項目名。 加えて、「いつ」「程度は」「今の状況はどうか」「児童を見たことがあるか・様子」という項目あり。
虐待の種類		○ ※自由記述する形式	
主・従			
身体的			○
性的			○
ネグレクト			○
心理的			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
子どもの状況	○ ※自由記述する形式	○ ※自由記述する形式	
現在の居場所			
保育所等通園の状況			
家庭の状況	○ ※「家族状況」という欄に、「続柄」「氏名」「生年月日」「年齢」「職業」「電話番号」「備考」を、10人まで書ける構成。また、別の欄に「保護者・家庭の状況及び所見」という自由記述欄がある。	○ ※自由記述する形式	○ ※「虐待状況及び家族の状況」という欄に、家族についてのことを自由記述する形式。「ジェノグラム」と「親の人柄等」という項目が設定されている。
家族内の協力者			
家族以外の協力者			
きょうだいの有無			
同居家族			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
情報源と保護者の了解		○ ※自由記述する形式	
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○ ※「通告者」欄に「情報源」につ いて自由記述する右欄あり		○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた			○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）			○ ※加えて「この情報は他に知らせ て ない・ある（市役所等・警 察・学校・民生委員 ）」と いう項目あり。
通告者			
氏名	○	○	○ ※「（ ）歳くらい」「男・女」 「印象（ ）」「匿名希望」を併 記
住所・電話	○	○ ※「電話の種別」も併記	○
関係			
家族		○	○
近隣		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
学校		○	○ ※「学校等（幼稚園・学校・教委）」という選択肢名
保育所		○	○
病院		○	○ ※「医療機関」という選択肢名
保健所		○	○
児童委員		○	○
警察		○	○ ※「警察等」という選択肢名。加えて「親戚」「知人」「児童本人」「福祉事務所」「民生委員」「児童福祉施設」「認定こども園」「その他（）」という選択肢あり。
通告意図	○ ※自由記述する形式		
子どもの保護		○	○
調査		○	○
相談		○	○ ※加えて「その他（）」という選択肢あり
調査協力	○ ※自由記述する形式		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		14	15
調査協力 (諾・否)		○	○
当所からの連絡 (諾・否)		○	○ ※「当所」ではなく「当課」と表記
通告者への対応	○ ※自由記述する形式	○ ※自由記述する形式	
自機関で実態把握 する			○ ※「自機関」ではなく「児童相談所」と表記
その他 ()			○ ※加えて「当所の対応内容は伝えられないこと(連絡済み・未)」という項目あり
決済		○	○
年月日	○ ※各職位の押印欄あり	※自由記述する形式。各職位の押印欄あり	※各職位の押印欄のみ
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「虐待者氏名」「年齢」「続柄」をそれぞれ自由記述		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
受理会議			※「受理会議結果」という欄名
開催年月日	○ ※「会議日」という欄名		○ ※「緊急性・即判断が要求され、 随時実施する」というチェック項目あり
対応方針	○ ※「今後の対応」という欄に「緊急一時保護」「立ち入り調査」「警察への援助要請」「その他」というサブ項目が立てられている。前三者はチェックを入れる形式。また、それとは別に「当面の方針」という自由記述欄もある。		○ ※「その実施方法や、追加調査先への聞き取り内容を具体的に記入する」という指示がある。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
出席者			
新規・（ ）回目	○ ※「受理状況」のサブ項目として 「通告回数」を記載		
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図			○ ※「虐待状況及び家族の状況」という欄に、「ジェノグラム」という項目あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
世帯特記事項	○ ※「特記事項」という項目名		
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			○ ※「保護者」欄に「住居」というサブ項目があり、そこに「戸建（持ち家・借家）・アパート・公営住宅」という選択肢がある
本籍地			
備考	※「その他」という欄名		
生活保護受給			
受理状況			
受付番号	○		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
虐待種別	○		
面前DV	○		
安全確認			○ ※「初期調査」欄で「安全確認」の「未」「済」を選択
日時	○		
状況	○		
方法	○		
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）			○ ※「未」「済」を選択
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			○ ※「未」「済」を選択
警察への情報提供			
該当・非該当			○ ※「児童の拒否 有」というチェック項目を併記。
口頭伝達			
月日			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
連絡者			○
受付署・者			○
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	13	14	15
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※「受付者」という欄名	○	○
受理年月日		○ ※自由記述形式	※「受付年月日」という欄名
元号年月日	○		○
曜日	○		○
午前・午後 時 分	○		○
子ども		※「被虐待児童」という欄名	
氏名・ふりがな	○	○ ※ふりがなはなし。「男・女」も併記。	○
生年月日	○		
元号年月日	※「年齢等」という項目名。自由記述形式。		○
() 歳			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
男・女	○	○ ※氏名欄に併記	○
住所	○ ※「(通告時の居所)」という指定あり。「不明」という選択肢も併記。	○ 「TELも記載」	○
就学状況	○ ※「学年等」という項目名。「所属 有 無」を選択した上で、「通学時の状況」を含めて自由記述する形式。		
未就学／保・幼・小・中・高校		○	○
年 組		○ ※組はなし	○ ※組はなし
担任名		○ ※TELも併記	○
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態			○ ※「子どもの状況」欄に「通学・通園状況」として「良好」「欠席がち」「不登校状態」を記載。
保護者（各2欄）			
氏名・ふりがな	○	○ ※ふりがなはなし	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
職業		○	○
続柄・年齢		○ ※年齢はなし	○
住所			○ ※「児童に同じ」というチェック欄あり
電話	○ ※加えて「生まれ」を記載する欄あり。		
虐待内容	※「虐待の状況」という欄名。「主訴」「相談内容」「特記事項」を自由記述する形式。		
誰から			○
いつから		○	○
頻度は		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		17	18
どんなふうに		○ ※「どのように」「どうされたか」という項目名	○ ※「どのように」という項目名
虐待の種類			
主・従			○
身体的	○	○	○
性的	○	○	○
ネグレクト	○	○	○
心理的	○ ※加えて「不明」という選択肢あり	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
子どもの状況			
現在の居場所		○ ※「家庭の状況」という欄に「子供はどこにいるか」を記入	○
保育所等通園の状況			○ ※「通学・通園状況」として「良好」「欠席がち」「不登校状態」を記載。
家庭の状況			
家族内の協力者		○ ※「この家族の協力者」を記入	○
家族以外の協力者		○ ※「この家族の協力者」を記入	○
きょうだいの有無			○
同居家族	○ ※「家族構成」という欄名。「続柄」「氏名」「年齢」「職業」を全員分記載。「ジェノグラム」を記載する欄もある。	○ ※「家族構成」欄に「続柄」「氏名」「生年月日（ ）歳」「学校・職業等」を記載。 ※加えて「家庭の状況」欄には「近隣の風評」という項目有り	○ ※加えて、ジェノグラムを書く欄あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○ ※「実際に目撃した」「声や音が 聞こえる」という選択肢名	○	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた	○ ※「第三者から聞いた」という選 択肢名。加えて「子ども本人の訴 え」「その他（ ）」という選択 肢あり。	○	○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○ ※「保護者認識」という独立した 欄。	○	○
通告者			
氏名	○	○	○
住所・電話	○	○	○
関係			
家族		○	○
近隣		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
学校		○	○
保育所		○	○
病院		○	○
保健所		○ ※「保健所・市町村保健センター」という選択肢名	○
児童委員		○ ※「民生児童委員」という選択肢名	○
警察		※加えて「親族」「その他（）」という選択肢あり	○ ※加えて「福祉事務所」という選択肢あり
通告意図			
子どもの保護		○	○
調査		○	○
相談		○	○
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
調査協力 (諾・否)	○	○	○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※加えて「経路」という自由記述欄あり	○	○ ※加えて「通告経路」というサブ項目が「通告者」欄内に設定されている
通告者への対応			○ ※「特に必要な事項等記入」との指示がある自由記述欄
自機関で実態把握する		○ ※「自機関」ではなく「児童相談所」と表記	
その他 ()		○	
決済			
年月日			
厚労省の様式にはない項目			
虐待者		○ ※「実父・実母・()父・()母・()」という選択形式	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
受理会議	※「対応」という欄のサブ項目として設定	※「所内対応」欄のサブ項目として設定	
開催年月日	○	○	
対応方針	○ ※「情報収集」「役割分担」「確認事項」「保護の必要性 有・無」「安全確認 所員・所員以外 () 年月日(曜日)午前・午後何時何分」を記載。		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
出席者	○		
新規・（ ）回目	○ ※「新規 履歴有 援助中」という選択肢		○ ※「相談履歴確認」という欄名。相談履歴の有無を選択肢、「有」の場合はケースNoを記入
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図	○ ※「家庭の状況」欄に「ジェノグラム」として記載		○ ※「子どもの状況」「家庭の状況」の横に、ジェノグラムを記載する欄あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象		○ ※「調査格付」という欄名で、深刻度、緊急度を選択	
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16		18
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階	○ ※「自家」「公営住宅」「借家」「マンション 階」「アパート階」「その他（）」という選択肢。「家庭の状況」のサブ項目として設定。		
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名	○ ※「自家」「公営住宅」「借家」「マンション 階」「アパート階」「その他（）」という選択肢。「家庭の状況」のサブ項目として設定。	○ ※「保護者」欄の「住居状況」において「アパート」「マンション」「借家」「公営住宅」「戸建」を選択	
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）		○ ※「市町との関わり」という独立した項目	
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			
警察への情報提供		○ ※「所内対応」欄に「警察」というサブ項目が有り、「緊急連絡相談協議 情報交換（ ）」を記入する形式	
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16		18
連絡者			
受付署・者			
担当者	○		
緊急一時保護		○ ※「所内対応」欄のサブ項目。 「元号年月日」を記入した上で、 「一時保護 一時保護委託（ ）」を選択	
虐待と認めた理由・ 背景等			
本児童の家庭内での 他の虐待ケースの有 無			
日常的に本児童の様 子が確認できるか			
要対協ケース 有・ 無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助 言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機 関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			○ ※「通告経路」というサブ項目が 「通告者」欄内に設定されている
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()			
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	16	17	18
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
厚生労働省様式の項目			※虐待通告受付票という名称
聴取者	○ ※「電話・その他」を合わせて選択	○ ※「担当者」も併記	○ ※「聴取者」という表記。「担当」も併記
受理年月日			
元号年月日	○	○	○
曜日	○	○	○
午前・午後 時 分	○	○	○
子ども	※「児童」という欄名	※「被虐待児童」という欄名	※「児童」という欄名
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日			
元号年月日	○ ※元号はなし	○	○
() 歳	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
男・女	○	○ ※自由記述形式	○
住所			○
就学状況			
未就学／保・幼・小・中・高校	○	○ ※「名称」および学年も併記	○
年 組	○		○ ※「組」はなし。
担任名	○	○	○
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態	○ ※「子どもの実態」という自由記述欄に「通園・通学状況」が含まれる	※加えて「虐待種別」「ケースNo」を「被虐待児童」欄のサブ項目として記載	
保護者（各2欄）		※「保護者等」という欄名で、2名ではなく3名まで記載可能	
氏名・ふりがな	○	○	○ ※「不明」という選択肢もあり。「父」「母」とあらかじめ設定されている。また、父母それぞれについて「実・養・継・内・不明」という選択肢あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
職業	○	○ ※「就学・就業状況・その他特記事項」という欄名	○
続柄・年齢	○	○ ※それぞれ独立した項目。年齢は「生年月日」という項目に記載。	○ ※「生年月日」という項目に、元号年月日と年齢を記載。続柄を記載する項目はなし
住所	○	○ ※「保護者等」欄のサブ項目ではなく、独立したものとして設定	○ ※「児童と同じ」という○をつける項目あり
電話			
虐待内容			※「内容」という欄名
誰から	○	○	○
いつから	○	○	○
頻度は	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
どんなふうに	○ ※加えて「加虐者の意識」を書く ようにという指示あり	○ ※「どのように」という項目名	○
虐待の種類	※「虐待の内容」欄内で選択	※「被虐待児童」の欄内で選択	※「種類」という欄名
主・従			○
身体的	○	○	○
性的	○	○	○
ネグレクト	○	○	○
心理的	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
子どもの状況	※「子どもの実態」という欄名		
現在の居場所	○	○ ※「家庭の状況」の欄に「子どもはどこに」を記載	
保育所等通園の状況	○ ※「このほか日常生活の様子」「子どもの特徴」を書くようにという指示あり		
家庭の状況	○ ※「家族の実態」という欄に「家族構成」「家族関係（夫婦・親子・同胞など）」「生活実態」「近隣との関係」などを自由記述		
家族内の協力者		○ ※「協力者」という項目名	○
家族以外の協力者		○ ※「協力者」という項目名	○
きょうだいの有無			○
同居家族		※加えて「家庭の状況」欄に「近隣風評等」を記載	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○	○
通告者は 関係 者()から 聞いた		○ ※「関係者」の文言はなし	○
保護者は この 通告を(承知・拒 否・知らせていな い)	○ ※「保護者の承知」という独立し た項目として設定されている	○	○
通告者			
氏名	○ ※「男・女」と「推定年齢」を併 記	○ ※「匿名希望 有・無」を併記	○ ※「匿名」という○をつける項目 を併記
住所・電話	○	○ ※「所属」を併記	○ ※「住所・連絡先」という項目名
関係			
家族	○	○	○
近隣	○	○	○ ※「近隣知人」という選択肢名

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
学校	○ ※「学校保育所」という選択肢	○	○
保育所	○ ※「学校保育所」という選択肢	○	○
病院	○	○	○
保健所	○	○	
児童委員	○	○	○
警察	○ ※加えて「福祉事務所」「具体的に：」という選択肢あり	○ ※加えて「市町」「他」という選択肢あり	○ ※加えて「本人」「親戚」「市町村」「福祉事務所」「その他（）」という選択肢あり
通告意図	○ ※「通告者の意見」という自由記述欄		
子どもの保護			○
調査			○
相談			○
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
調査協力 (諾・否)	○	○	○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※加えて「協力内容」「その他協力可能な方」を記入する欄あり。	○ ※加えて「通告者を虐待者に明かすこと(諾・否)」という選択肢あり	○ ※加えて「通告方法」という項目で「電話(児相電話 189)」「来所」を選択
通告者への対応	※「通告者への伝え」という欄名		
自機関で実態把握 する	○	○ ※「自機関」ではなく「児相」と表記	○ ※「自機関」ではなく「児童相談所」と表記
その他()	○	○	○ ※「その他(警察への連絡等)」という選択肢名
決済	○		
年月日	※年月日は無し。様式冒頭に各職位の押印欄。	○ ※年月日は無し。様式冒頭に各職位の押印欄。	○ ※各職位の押印欄も併置
厚労省の様式にはない項目			
虐待者			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
受理会議		※「対応」という欄名	※「緊急受理会議」という欄名
開催年月日		○	○ ※「日にち」という項目に元号年月日曜日を記載
対応方針		○ ※「初動方針」という欄名	○ ※「緊急性（有・無）」「即時対応・24時間以内対応・中長期対応」を選択したうえで、「児童の安全確認（確認機関：）」「市町村への家族状況の調査（住民票・戸籍等）」「児童の関係機関への情報収集（）」「通告者への虐待内容の再確認」「主任児童委員への情報収集・調査依頼」「通告者宅への訪問調査」「家庭訪問の実施」「そのほか」に○をつける

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
出席者		○	○ ※「参加者」という項目名。「所長」「次長」「相談課長」「判定保護課長」に○をつけ、ほかの出席者は自由記述する形式。加えて「対応方針」という自由記述項目、「情報収集」という「基本情報収集（住基・収入等）」「母子保健情報」「児の所属集団からの情報収集」「その他（ ）」を選択、記載し、それぞれの「対応者」を記載する項目、「対応」という「一時保護（要：所内・委託・否）」を選択する項目、「家庭訪問（対応者： ）を記載する項目、「アセスメント」という「リスクアセスメント 点 重・中・軽・不問）」を選択する項目、「危険度ランク 警察への報告レベル」を「I」から「V」から選択する項目、「安全確認」という「元号年月日」と「確認者（ ）」を記載する項目あり
新規・（ ）回目	○ ※「チェック項目」という欄に「新規・再<>」を記入		
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図			○ ※独立した欄として設定

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象	○ ※「聴取者所感」という自由記述欄		○ ※「緊急受理会議」欄内に、「アセスメント」という「リスクアセスメント 点 重・中・軽・不問）」を選択する項目、「危険度ランク 警察への報告レベル」を「I」から「V」から選択する項目あり
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		20	
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度		○ ※「緊急度ランク」という欄名	
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態	○ ※「保護者」欄の「住所」内に「住居の特徴」を記入する欄あり		
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名		○ ※「住居状況」という欄で「アパート・マンション・借家・公団住宅・1戸建・その他」を選択	
本籍地			
備考	○ ※「その他の事柄」という欄名	○ ※「特記項目」という欄名	
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
虐待種別			
面前DV			
安全確認			○ ※「緊急受理会議」欄内に「安全確認」という「元号年月日」と「確認者（）」を記載する項目あり
日時			
状況			
方法			
初期調査		○	
市町村の情報（住基・検診・予防接種）		※「対応」欄に「初動調査」について自由記述する形式	○ ※「所内対応」欄内「対応方針」に「市町村への家族状況の調査（住民票・戸籍等）を記載」
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			○ ※「所内対応」欄内「対応方針」に「児童の関係機関への情報収集」を記載
警察への情報提供		○ ※「警察」という欄で「緊急連絡・個別相談協議・情報共有（）」を選択	
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等	○		
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無	○		
日常的に本児童の様子が確認できるか	○		
要対協ケース 有・無		○	
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()			
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	19	20	21
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※「今までの通告回数（ ）回目」「No.（ ）」も併記	○ ※「受理者」という欄名	○
受理年月日			
元号年月日	○	○	○
曜日	○		○
午前・午後 時 分	○ ※「通告方法（来所・電話・文書・会議）」も併記	○ ※「電話・来所」という選択肢も併記	○ ※「前・後 時 分」という表記
子ども	※「被虐待児童」という欄名	※「被虐待児童」という欄名	※「対象児童」という欄名
氏名・ふりがな	○ ※「虐待（新・継・再）」「性別（男・女）」も併記	○ ※「ふりがな」はなし	○ ※「男・女」および生年月日（元号年月日）、年齢月例も併記
生年月日			○ ※「氏名・ふりがな」欄に併記
元号年月日	○		
（ ）歳	○	○ ※「年齢」という項目名	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	
男・女	○ ※「氏名・ふりがな」欄で記入	○	
住所	○ ※「電話番号」「地区担当者」を併記	○ ※「(部屋番号など詳しく)」という注意書きあり。「TEL」も併記。	○
就学状況			
未就学／保・幼・小・中・高校	○		○
年 組	○ ※「組」はなし		○ ※「組」はなし
担任名	○		○
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態	※加えて、「被虐待児童」欄には「ケース番号(新◎・再○・継)」というサブ項目も設定されている		※加えて「対象児童」欄内には「住居状況」および「児童は今どこ」というサブ項目が設定されている
保護者(各2欄)		○ ※「被虐待児および家族の状況」という欄に、7名まで「続柄」「氏名ふりがな」「生年月日」「年齢」「住所」「職業・保育・就学状況」を記載	※「家族構成」という欄名で、3名まで記入可能
氏名・ふりがな	○ ※「性別(男・女)」も併記	○	○ ※「ふりがな」はなし

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
職業	○	○	○
続柄・年齢	○ ※それぞれ独立した項目。「生年月日」欄に「年齢」を記入。続柄は「こどもとの続柄（）」を記入。	○	○ ※それぞれ独立した項目。「年齢」ではなく「生年月日」を記入
住所		○	○
電話	※加えて、「保護者」欄には「住居状況 独立家屋・集合住宅（）・公営住宅」というサブ項目が設定されている。		○
虐待内容		○ ※「虐待の状況」という欄名。「いつ、どこで、だれが、なにを、どのように、どうした」を自由記述する形式。	
誰から	○ ※「主たる虐待者：父（実父・実父以外）、母（実母・実母以外）、その他」を併記		○
いつから	○		○
頻度は	○		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22		24
どんなふうに	○		○ ※加えて「主たる虐待者：父（実父・実父以外）・母（実母・実母以外）・その他」選択。さらに「虐待内容」欄には「虐待の種類」「情報源」「保護者の了解」がサブ項目として設定されている
虐待の種類			※「虐待内容」欄に記載
主・従	○		○
身体的	○	○	○
性的	○	○	○
ネグレクト	○	○ ※「ネ（棄児、置去、登禁、他身、他心、その他）」という選択肢名	○
心理的	○ ※加えて、「虐待の種類」欄には「理由」を併記	○ ※「心（暴力目撃、その他）」という選択肢名。加えて「不明」という選択肢あり。	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
子どもの状況		※「被虐待児および家族の状況」という欄名。7名まで「続柄」「氏名ふりがな」「生年月日」「年齢」「住所」「職業・保育・就学状況」「子どもの安全確認（月日、確認者）」を記載	
現在の居場所	○		○ ※「対象児童」欄内にサブ項目として設定されている
保育所等通園の状況	○		
家庭の状況			
家族内の協力者	○		○ ※「家庭内の協力者」という表記
家族以外の協力者	○		○
きょうだいの有無	○		○
同居家族	○ ※加えて「家庭の状況」欄内には、「近隣の風評」と「家族構成」というサブ項目あり		※加えて「家庭時の状況」欄には「近隣の風評」と「ジェノグラム」を記載する欄あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
情報源と保護者の了解		※欄名なし。「・通告の意図・調査への協力・保護者の了解・調査時の配慮」が欄内に縦に並んでいる形式	※「虐待内容」欄に記載
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○		○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた	○		○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○	○ ※「この連絡を承知している」 「この連絡を知らない」という選 択肢	○
通告者			
氏名	○	○ ※「氏名・所属」という項目名	○
住所・電話	○ ※「電話」はなし		○ ※「FAX」も併記
関係			
家族			○ ※「家族（虐待者本人・虐待者以 外）」という選択肢名
近隣	○ ※「近隣・知人」という選択肢名		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
学校	○ ※「学校（幼稚園・小・中・高・その他）」という選択肢名		
保育所	○ ※「児童施設（保育所・その他）」という選択肢名		○
病院	○ ※「医療機関」という選択肢名		○ ※「医療機関」という選択肢名
保健所	○		
児童委員	○		○ ※「主任児童委員」という選択肢名
警察	○ ※「警察等」という選択肢名。加えて「虐待者本人（父・母・その他）」「虐待者以外（父・母・その他）」「親戚」「児童本人」「市町村」「保健センター」「福祉事務所」「（）」という選択肢あり		○ ※加えて「幼稚園」「市町（）」「児童家庭支援センター」「知人」「児童本人」「その他」という選択肢あり。
通告意図		※別欄に記載。「・通告の意図・調査への協力・保護者の了解・調査時の配慮」が欄内に縦に並んでいる形式	
子どもの保護	○	○	○ ※「保護」という選択肢名
調査	○	○	○
相談	○	○ ※加えて「その他（）」という選択肢あり	○
調査協力		※別欄に記載。「・通告の意図・調査への協力・保護者の了解・調査時の配慮」が欄内に縦に並んでいる形式	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
調査協力 (諾・否)	○	○ ※「協力できない」「協力できる 連絡先()」という選択肢	○
当所からの連絡 (諾・否)	○		○ ※加えて「通告者」欄には「通告 者を保護者に 明かさないでほし い・明かして良い」という項目あ り
通告者への対応			
自機関で実態把握 する	○ ※「自機関」ではなく「児童相談 所」と表記		
その他 ()	○		
決済	○		
年月日	※「年月日」を記載する欄はな し。各職位の押印欄が様式の冒頭 あり、「緊急受理会議」および 「受理会議」の元号年月日を併記		
厚労省の様式にはな い項目			
虐待者	○ ※「虐待内容」欄の「誰から」に 併記		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
受理会議	※「緊急受理会議」という欄名。受理会議については別様式に詳細を記入	※「受理会議記録」という欄名	※「受理会議決定事項」という欄名。「元号 年 月 日受理」「相談種別 虐待（身体的・心理的・性的・ネグレクト）・養護・保留」「児童の安全確認」「市町村への家族状況確認」「関係機関（ ）への情報収集」「その他」を記載。
開催年月日	○ ※「時 分」も併記	○ ※「午前・午後 時 分」も記載	
対応方針	○ ※「決定事項」という項目に「緊急性（有・無）」「児童の安全確認（確認機関： 日時： 月 日 時 分）」「市町村への家族状況確認（住民票、市町村での虐待支援の有無等）」「児童の所属集団への情報収集の実施」「保健部門への状況確認（子育て相談・検診・予防接種等）」「主任児童委員（児童委員）、民生委員への情報収集・確認依頼」「通告者への虐待内容等の再確認」「通告者宅への訪問調査」「関係機関への情報収集・協力依頼」「家庭訪問の実施」「その他（ ）」を記載	○ ※「職権一時保護」「（家庭・所属・その他 ）訪問」「保護者（ ）を呼び出す」「保護者（ ）に電話」「調査を継続」「市長に調査・対応を依頼」「ケース会議を開催」「（ ）による見守り対応」という選択肢にチェックをつける形式	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	
出席者	○	○ ※加えて「一時保護の可能性 有・無・判断保留」「[有の場合]] 対象児童 () 一時保護判定 (AA、A、B、C) チームの構成： 虐待対応課 ()、相談援助課 ())、市町職員 ()、関係者 ()」 の2項目を記載、選択する欄あり	
新規・ () 回目	○ ※欄外および「被虐待児童」欄に 記入	○ ※「虐待相談・通告の有無 有・ 無」「他相談の有無 (有・無 相談種別)」「関係ケースの有 無 (有・無)」「過去の主な 取扱経過 (虐待通告歴、一時保護 歴、施設入所歴など)」という4つ の欄で、過去の情報を記載、選択	
ケース番号		○ ※「(No -)」という欄	
世帯等状況			
家族関係図		○ ※「ジェノグラム」という独立し た欄	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
世帯特記事項		○ ※「特記事項」という独立した欄	
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況		○ ※「関係ケースの有無（有・無）」「過去の主な取扱経過（虐待通告歴、一時保護歴、施設入所歴など）」という2つの欄で起債	
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度	○ ※「緊急受理会議」欄の「決定事項」に記載		
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名	○ ※「保護者」欄内「住居状況」において「独立家屋・集合住宅（ ）・公営住宅」を選択		○ ※「対象児童」欄の「住居状況」において「一戸建て・集合・」 「持ち家・民間借家・公営借家・」 を記載
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
虐待種別			
面前DV			
安全確認			○ ※「受理会議決定事項」欄に「児童の安全確認」を記載。加えて「対応状況」という自由記述欄あり
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）	○ ※「緊急受理会議」欄内「決定事項」に「市町村への家族状況確認（住民票、市町村での虐待状況の有無等）」および「保健部門への状況確認（子育て相談・健診・予防接種等）」を記載		○ ※「受理会議決定事項」欄に「市町村への家族状況確認」を記載
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）	○ ※「緊急受理会議」欄内「決定事項」に「児童の所属集団への情報収集の実施」を記載		○ ※「受理会議決定事項」欄に「関係機関（ ）」への情報収集を記載
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			○
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	22	23	24
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）		○	
虐待相談・通告の有無 有・無		○	
他相談の有無 （有・無 相談種別）		○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
厚生労働省様式の項目			
聴取者	○ ※機関名、代表者名、電話番号、受付印も併記。情報共有時のためか「〇〇殿」という欄もあり	○ ※「受理日」に併記。「受付」という欄名。加えて「ファイルNo」「受付No」を欄外に記載。	○ ※「地区担当」も併記。
受理年月日			
元号年月日	○	○	○
曜日	○	○	○
午前・午後 時分	○	○ ※「電話・来所」という選択肢も併記	○
子ども	※「被虐待児童」という欄名	※「被虐待児童」という欄名	
氏名・ふりがな	○	○ ※「性別」「生年月日」「歳」「電話」も併記	○
生年月日	○ ※自由記述する形式	○ ※「氏名・ふりがな」に併記	
元号年月日			○
() 歳			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番			27
男・女			○
住所	○	○ ※「アパート・マンション・借家 公営住宅・戸建て・社宅」「現在 の居場所」を併記	○
就学状況			
未就学／保・ 幼・小・中・高校	○ ※所属名も併記	○ ※所属名も併記	○ ※自由記述する形式
年 組	○	○ ※「組」はなし	
担任名	○		
出席状況：良 好 欠席がち 不登 校状態		※加えて「校区」併記。さらに、 「被虐待児童」欄には「①過去の 相談歴」「②市町との重複」「③ 行動発達面問題」「④発達・発育 の遅れ」「⑤障害」「⑥健診」 「⑦予防注射」「⑧所属機関の出 席状況」がサブ項目として設定さ れている	
保護者（各2欄）	※1名分のみ	○ ※「家族構成・状況」という欄 名。「続柄」「氏名」「性別」 「生年月日」「年齢」「職業・所 属」「同居」「虐待者」「その他 参考事項」を9名まで記入。「住 所」「電話」はなし。 加えて、「虐待者の態度」「障 害」「虐待者の相談歴」「夜間就 労」「持病」「てんかん」「育児 力」「夫婦不和」「家族間不和」 「親族・近隣からの孤立」「協力	○ ※「家族構成」という欄名。「氏 名」「続柄」「職業」「生年月日 （年齢）」「同・別（居）」「そ の他の参考事項」を5名まで記載。
氏名・ふりがな	○		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	者」「関係機関の受入」「経済的問題」「経済的支援」を選択し形式で記入する欄が設けられている。	
職業			
続柄・年齢	○		
住所			
電話	※このほか「保護者」欄には「住居状況」という項目で「①独立家屋・集合住宅（ ）階 ②鉄筋・木造」という選択欄あり。		
虐待内容		○ ※「虐待の状況」欄に「日時、場所、頻度、様子等」を自由記述する形式	
誰から	○		○
いつから	○		○
頻度は	○		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25		27
どんなふうに	○		○ ※加えて「その他」という項目あり。
虐待の種類		○ ※「虐待の状況」欄に「虐待の種類」と「主◎」「従○」を自由記述する形式。	
主・従	○	加えて、「虐待の状況」欄には「傷」「汚れ」「食事問題」「兄弟間の差別」「継続した虐待状況」を選択し形式で記入する欄あり。	○
身体的	○		○
性的	○		○
ネグレクト	○		○
心理的	○		○ ※加えて、上記4つにあてはまらない場合を自由記述する欄あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
子どもの状況			
現在の居場所	○	○ ※「被虐待児童」欄の「住所」内に記載	○
保育所等通園の状況	○		○ ※「通学状況」という項目名。加えて「その他」という項目あり。
家庭の状況			
家族内の協力者	○		○
家族以外の協力者	○		○
きょうだいの有無	○	○ ※「家族構成・状況」欄に記載。	○
同居家族	○	○ ※「家族構成・状況」欄に記載。	○ ※「同居 他」という項目名。「家族構成」で書き切れなかった者を書く？

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○	○ ※「通告者」欄のサブ項目として 設定。「直接虐待を見聞」「悲鳴 や物音から虐待を推測」という選 択肢名	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた	○	○ ※「通告者」欄のサブ項目として 設定「人から聞いた」という選択 肢名。加えて「子どもの様子か ら」という選択肢もあり。	○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○		○
通告者			
氏名	○	○	○
住所・電話	○ ※「電話」はなし	○	○
関係		○ ※自由記述する形式	
家族	○		○
近隣	○		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25		27
学校	○		○
保育所	○		○
病院	○		○
保健所	○		○
児童委員	○		○
警察	○ ※加えて「その他」という選択肢 もあり		○ ※加えて「福祉事務所」「他（ ）」という選択肢あり。
通告意図		○ ※自由記述する形式	
子どもの保護	○		○
調査	○		○
相談	○		○
調査協力		○ ※自由記述する形式	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25		27
調査協力 (諾・否)	○		○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※「児童相談所または福祉事務所 からの連絡(諾・否)という項目 名		○
通告者への対応			
自機関で実態把握 する	○ ※「自機関」ではなく「児童相談 所」と表記		
その他 ()			
決済	○	○	
年月日	※「年月日」はなし。各職位の押 印欄のみ	※「年月日」はなし。「主担当」 「副担当」のみ	
厚労省の様式にはない項目			
虐待者			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
受理会議			
開催年月日	<p style="text-align: center;">○</p> <p>※「通告受理日時」を再度併記</p>		
対応方針	<p style="text-align: center;">○</p> <p>※「受理会議での決定事項」欄に 自由記述する形式</p>		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
出席者	<p style="text-align: center;">○</p> <p>※加えて受理会議欄には「安全確認日時」「安全確認者」もサブ項目として設定されている。</p>		
新規・（ ）回目			
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態	○ ※「保護者」欄に「住居状況」という項目で「①独立家屋・集合住宅（ ）階 ②鉄筋・木造」という選択欄あり。		○ ※「住居の状況」という欄名。「①独立家屋 集合住宅 階（ / ）」「②鉄筋 木造 その他」を選択。
階			
オートロック 有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
虐待種別			
面前DV			
安全確認	○ ※受理会議についての欄に「安全確認日時」「安全確認者」を記載		○ ※「通告受理後の子どもの安全確認の実施状況」という欄名
日時			○
状況			○
方法			※加えて「場所」という項目で「自宅 学校 その他（）」を選択
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）			
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・ その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・ 記載			
虐待認定			
種別 主・ 従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()			
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	25	26	27
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
厚生労働省様式の項目	※「虐待ケース支援シート」というA3一枚紙の一部として「虐待通告（相談）受付票」が組み込まれている。同シートはほかに「受理会議」「安全確認」「一時保護」「備考」「調査報告会議」「虐待認定会議」「援助方針会議」「決済」「備考（援助方針決定後の対応）」を書く部分から構成されている。		
聴取者	○ ※「職名」も併記	○	○
受理年月日			
元号年月日	○ ※元号はなし	○	○
曜日	○ ※元号はなし	○	○
午前・午後 時 分	○ ※自由記述する形式	○	○
子ども	○ ※「被虐待児童氏名」という欄名。4名まで記入可能。	※「被虐待者」という欄名	※「被虐待児童」という欄名
氏名・ふりがな		○	○
生年月日			
元号年月日	○ ※自由記述する形式	○	○
() 歳	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
男・女	○ ※自由記述する形式	○	○
住所	○ ※「被虐待児童氏名」欄内ではなく、独立した記入欄として設定されている。	○	○
就学状況			
未就学／保・幼・小・中・高校	○ ※「就学・就園状況、学年」という項目名	○	○
年 組	○ ※「就学・就園状況、学年」という項目名。学年のみ記載？	○	○
担任名		○	
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態			
保護者（各2欄）	○ ※「家族状況等」という欄名。「続柄」「氏名」「生年月日」「年齢」「職業・所属」「同居」「虐待者」「生保」「保護者」「備考」を6名まで記載。	※1名のみ	※1名のみ。
氏名・ふりがな		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
職業		○	○
続柄・年齢		○ ※「子どもとの続柄（）」「年齢（）歳」という項目	○
住所			
電話	○ ※「家族構成」欄から独立して「連絡先」という欄が設けられており、そこに「自宅」「携帯」を書く構成。子どものものか保護者のものかはケースバイケースとされている？		
虐待内容	○ ※「通告内容」という欄名。「虐待種別（疑い）（主◎・副○）」という欄が設けられており、「身体的」「性的」「ネグレクト」「心理的」「その他（泣き声等）」のいずれかに◎もしくは○をつける。それ以外の内容は自由記述の欄が設けられている。		
誰から		○	○
いつから		○	○
頻度は		○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
どんなふうに		○ ※上記3つも含めて「虐待概要」 の欄にある	○
虐待の種類			
主・従	○ ※「主◎・副○」で記入	○	○
身体的	○	○	○
性的	○	○	○
ネグレクト	○	○	○
心理的	○ ※加えて、上記4つに当てはまらない場合「その他（泣き声等）」 に○または◎を記入する欄が設け られている	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
子どもの状況			※「児童の状況」という欄名とは別に「被虐待時の状況」という欄があり、「外傷」の有無、状態、「被虐待時の供述」など
現在の居場所		○	○ ※「不明 幼・保 学校 自宅」から選択
保育所等通園の状況		○	○ ※「通学状況」という項目。「不明 ほぼ欠席 休み多い 良」から選択
家庭の状況			※「家族」という欄名
家族内の協力者		○	○
家族以外の協力者		○	○
きょうだいの有無		○	
同居家族		○	○ ※「続柄」「氏名」「年齢」「職業等」を6名まで記載。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた		○	○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）		○	○
通告者			
氏名	○ ※加えて性別（「男」「女」「不 明」）についてと、「匿名希望」 のチェック欄が設けられている。	○	○
住所・電話	○ ※「住所」と並列に「連絡先」と いう欄が設けられている。そこ には「不明」選択できる様になっ ているが、チェック欄などはない。	○ ※「住所」のみ	○
関係	○ ※「経路」という項目名	○ ※自由記述する形式	
家族	○ ※加えて「親戚」という選択肢あ り		○
近隣	○ ※加えて「知人」という選択肢あ り		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28		30
学校	○		○ ※「幼」「保」の選択肢も記載
保育所	○ ※「幼稚園」と「保育園」の選択肢になっている。		○
病院	○		○
保健所			○
児童委員			○
警察	○ ※加えて「市町村」「その他（）」という項目あり		○ ※加えて「その他」の項目も選択しに記載
通告意図		○ 自由記述する形式	
子どもの保護			○
調査			○
相談			○
調査協力		○ ※自由記述する形式	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28		30
調査協力 (諾・否)	○		○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※「児相からの連絡」という項目 になっている		○
通告者への対応			○ ※自由記述の形式
自機関で実態把握 する		○	
その他 ()		○	
決済		※「所長決裁」という欄名	
年月日		○	
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「家族状況等」の項目の中で 「虐待者」に○をつける欄あり		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
受理会議	○		
開催年月日	○		
対応方針			<p>○</p> <p>※「受理会議での決定事項」という項目。自由記述の形式</p>

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
出席者			
新規・（ ）回目			
ケース番号			○
世帯等状況			
家族関係図			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
世帯特記事項			○ ※「きょうだいの取扱い」という欄名。「ケース登録支援開始」「簡易統計相談終結」「その他（）」から選択
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況	○ ※「既に関わっている関係機関名(担当者)」という項目名。		
他に状況を知る者は			○ ※「通告者以外からの情報」という欄名「情報元： 」と自由記述の形式で2つまで記載
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			○ ※「住居の状況」という欄名。 「①独立家屋 集合住宅 階（ ）階」「②鉄筋 木造」を選択。
階			
オートロック 有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
虐待種別	○		
面前DV			
安全確認			※「所要時間 時 分」の記載と・24時間以内・48時間以内・48時間以上を選択。「安全確認者（氏名）（所属）」の記載欄あり
日時			○
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）			
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			
警察への情報提供			○ ※「要」「保留→（）」を選択
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等			○ ※「今回の通告に至った直接的なきっかけ」という項目名
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			○
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			○
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			○
被虐待の供述			
未・否定・済			○
受診			
未・否定・済 (月日)			○
特記			○
現住所転入日 (H 年 月 日)			○
転入前の住所			○
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()			
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	28	29	30
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
厚生労働省様式の項目	「受理会議」とセットで1枚		
聴取者	○ ※「通告受付者氏名」という欄名。システム上で職員名を選択する形式。	○ ※「No.」「回線」「時間（ ）分」を併記。枠外下に「1 夜間休日電話架電 2 夜間休日登庁 3 開庁中に報告」 「担当CW（ CW）」を記載。	○
受理年月日			
元号年月日	○ ※自由記述する形式	○	○
曜日		○	○
午前・午後 時分	○ ※自由記述する形式。「午前・午後」の指定はなし。	○	○ ※「午前・午後」はなし
子ども	※「被虐待児」という欄名で、3名まで記入可能	※「被虐待児童」という欄名	※「被虐待児童」という項目名。「氏名」「生年月日」「男女」は2名分記載可能。
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日			
元号年月日	○	○	○ ※「氏名」に併記
（ ）歳	○	○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
男・女	○	○	○ ※「氏名」に併記
住所	○ ※3人すべてについて書くのではなく、1カ所だけ。「電話」も記入。	○	○ ※「氏名」に併記
就学状況	○ ※「被虐待児童」欄内で、それぞれの子どもについて記入	○	○ ※自由記述する形式
未就学／保・幼・小・中・高校	○ ※「未就学」はなし。所属名も記入。	○	
年 組		○	
担任名		○	
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態		※加えて「被虐待児童」欄に「住居状況」がサブ項目として設定されている	
保護者（各2欄）	※「（実・養・継）父」「（実・養・継）母」「その他」の3名について記載		
氏名・ふりがな	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
職業	○	○	○
続柄・年齢	○ ※「その他」についてのみ記載	○	○ ※それぞれ独立した項目。「年齢」は「生年月日」項目欄に併記。
住所	○		
電話	※ その他、「保護者」欄内に「住居状況」を1カ所だけ記入		○ ※加えて「住居状況」というサブ項目あり
虐待内容	※「虐待の状況・内容」という欄名		
誰から		○	○
いつから	○ ※「いつ頃から」という項目に自由記述	○	○
頻度は	○ ※「虐待の頻度（ほぼ毎日・3日に1回程度・週1回程度・月1回程度・不明）」という選択肢	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
どんなふうに	○ ※「具体的な虐待の内容」という項目に自由記述。このほか「情報源は ①通告者（ ） ②その他（ ・ ）」という項目あり	○ ※加えて「子どもは今どこに」という項目あり	○
虐待の種類	※「虐待の状況・内容」欄に記載		
主・従		○	○
身体的	○	○	○
性的	○	○	○
ネグレクト	○	○	○
心理的	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
子どもの状況	※「児童の状況」という欄名		
現在の居場所	○ ※「現在児童はどこにいるのか」という項目名	○	○
保育所等通園の状況	※このほか「現在児童はどのような状況か」「児童の避難場所はあるのか」という項目有り	○ ※「保育園・学校等の通園、通学の状況」	○
家庭の状況	※「家族構成・状況」という欄名		
家族内の協力者	○ ※「家庭内での協力者の有無(有・無)」という選択肢	○	○
家族以外の協力者		○	○
きょうだいの有無		○	○
同居家族	○ ※「家族構成」という項目にジェノグラムを記載。このほか「近隣の風評等」という自由記述項目有り。	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○ ※「通告者」欄内のサブ項目として設定	○	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた	○ ※「通告者」欄内のサブ項目として設定	○	○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○ ※「保護者はこの通告を ①承知 ②拒否 ③知らない」という独立 した欄	○	○
通告者			
氏名	○ ※「匿名希望の有無（有・無）」 を併記	○	○
住所・電話	○ ※「匿名希望の有無（有・無）」 を併記	○	○
関係			
家族	○	○	○
近隣	○ ※「近隣・知人」という選択肢名	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
学校	○	○	○
保育所	○ ※「保育所等」という選択肢名	○	○
病院	○	○ ※「医療機関」という選択肢名	○
保健所	○		○
児童委員	○	○	○
警察	○ ※加えて「親戚」「福祉事務所」「その他（）」という選択肢あり	○ ※加えて「本人」「幼稚園」「福祉事務所」「その他（）」という選択肢あり	○ ※加えて「福祉事務所」「その他」という選択肢あり
通告意図			
子どもの保護	○	○	○ ※「児童の」という表記
調査	○	○	○
相談	○ ※加えて「その他（）」という選択肢あり	○	○
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
調査協力 (諾・否)	○ ※「調査協力の意志(有・無)」 という項目	○	○
当所からの連 絡(諾・否)	○ ※「連絡の諾否(諾・否)」とい う項目	○	○
通告者への対応			○ ※自由記述する形式
自機関で実態把握 する		○ ※「児童相談所で実態把握する旨を説明 した」という選択肢	
その他()		○	
決済		※「所長決裁」という欄名	○
年月日		○ ※『児童相談所長』を併記	※「年月日」はなし。各職位の押 印欄のみ。
厚労省の様式にはな い項目			
虐待者	○ ※「主な虐待者」という欄名		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
受理会議			
開催年月日			
対応方針			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
出席者			
新規・（ ）回目			
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図	<p style="text-align: center;">○</p> <p>※「家族構成」という項目にジェノグラムを記載。</p>		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			○ ※「保護者」欄に「住居状況」というサブ項目を設定。「独立家屋・集合住宅（ ）階」「木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造・その他」を記載。
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名		○ ※「被虐待児童」欄に「住居状況 1 独立家屋・集合住宅（ ）階 2 鉄筋・木造」がサブ項目として設定されている	
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住 基・検診・予防接 種）			
所属調査（保・ 幼・小・中・高校・ その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路	○		
虐待者風貌容姿等		○	
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	31	32	33
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
厚生労働省様式の項目	※「一時保護決定に向けてのアセスメントシート」と両面印刷	※「虐待相談受付票」という名前	※「児童虐待通告等受理報告書」という名前
聴取者	○ ※「受理者」という欄名。「地区担当」も併記	○ ※「記入者氏名」という欄名	○ ※「相談受理者」という欄名
受理年月日			○ ※自由記述する形式。「所要時間」を併記。
元号年月日	○	○	
曜日	○	○	
午前・午後 時 分	○ ※「午前・午後」はなし	○	
子ども	※4名まで記載可能		○ ※「対象世帯」という欄に記入し、「対象児童」にチェックをする方式
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし	○	
生年月日			
元号年月日	○ ※自由記述する形式	○	
() 歳	○	○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	
男・女		○	
住所		○ ※「独立家屋・集合住宅（アパート名 階）を併記	○ ※「対象世帯」という欄に記入
就学状況		○ ※自由記述する形式。加えて「相談履歴 有 無 不明」というサブ項目あり。	
未就学／保・幼・小・中・高校	○ ※「子ども」欄内の「学校等」という項目に所属名を記載		○ ※「対象世帯」という欄の「職業・学校等」という項目に記載
年 組	○ ※「子ども」欄内の「学校等」という項目に学年を記載。「組」はなし。		
担任名			
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態			
保護者（各2欄）	※「父親」「母親」と指定されている	※1名分のみ	○ ※「対象世帯」という欄に記載
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし	○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	
職業	○	○	
続柄・年齢	○ ※「年齢」のみ。	○ ※「年齢」はなし	
住所			
電話	※加えて「家族状況」「入居状況」というサブ項目あり。前者は（恐らく）同居している家族をチェックしていく項目。		
虐待内容	○ ※自由記述する形式。「5W1H、傷のアザの部位、程度、頻度などを具体的に記載する」という指示あり。「ジェノグラム（三世代）」も併記。	○ ※「主訴」という欄名。自由記述する形式。「誰から {父・母・それ以外（ 本人 ）}」「気づいた時期・頻度： 年 月頃から／週・日に 回」を併記。	○ ※「通告者からの聴取内容」という欄の「通告内容」に自由記述する形式
誰から			
いつから			
頻度は			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番			
どんなふうに			
虐待の種類	○ ※「援助方針会議」欄内の「虐待 認定」項目内に記載		○ ※自由記述する形式
主・従			
身体的			
性的			
ネグレクト			
心理的			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
子どもの状況		○ ※「子どもの様子」という欄名。 「①外傷：無／有（部位： 程度： ）」「②健康状態・発育状況：良／不良（ ）」「③身体の汚れ：無／有（ ）衣服の汚れ：無／有（ ）」「④子どもの普段の様子 {落ち着きがない・オドオドしている・表情が乏しい・徘徊・万引き・暴力行為・その他（ ）}」を記載。	
現在の居場所			
保育所等通園の状況			
家庭の状況		○ ※「家庭の様子」という欄名。	○ ※「対象世帯」という欄名。8名まで「続柄」「氏名」「フリガナ」「生年月日」「年齢」「性別」「職業・学校等」「児童票番号」を記載。「生活保護受給」「児童相談所取り扱い歴」も併せて記載。
家族内の協力者		○	
家族以外の協力者		○	
きょうだいの有無		○	
同居家族		○ ※加えて「子どもへの日常の接し方 {すぐ叩く・大声で叱る・関心を示さない・その他（ ）}」「近隣との付き合い： {親密・多少あり・あまりない・全くない}」というサブ項目あり。	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○	○ ※「通告者からの聴取内容」欄内 の「情報源」という項目に自由記 述する形式
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた		○	
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）		○	
通告者			
氏名	○	○	○ ※「機関名・氏名」という項目名
住所・電話	○	○	○ ※「機関名・氏名」という項目名
関係			○ ※「児童との関係」という欄に自 由記述する形式
家族	○	○	
近隣	○ ※「近隣知人」という選択肢名	○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	
学校	○	○	
保育所		○	
病院	○ ※「保健所・医療機関」という選 択肢名	○	
保健所	○ ※「保健所・医療機関」という選 択肢名	○	
児童委員	○	○	
警察	○ ※加えて「親戚」「児童本人」 「県福祉」「市町村」「里親・施 設」「認定こども園」「その他（ ）」という選択肢あり	○ ※加えて「福祉事務所」「その他 （）」という選択肢あり	
通告意図			○ ※「通告者からの聴取内容」欄内 の「情報源」という項目に自由記 述する形式
子どもの保護		○	
調査		○	
相談		○ ※加えて「その他（）」という 選択肢あり	
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
調査協力 (諾・否)	○	○	
当所からの連絡 (諾・否)	※加えて「通告者情報の開示 諾 否」という選択肢あり	○	○ ※自由記述する形式
通告者への対応			
自機関で実態把握 する		○ ※「実態把握する」という項目名	
その他 ()		○	
決済	○		○
年月日	※「年月日」はなし。各職位の押 印欄のみ。		※「日付」はなし。各職位の押印 欄のみ。起案者氏名も併記。
厚労省の様式にはな い項目			
虐待者			○ ※「対象世帯」欄内の「虐待疑」 に○をつける方式。また、「生活 苦」という○を付ける欄も併記。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
受理会議			
開催年月日	○		
対応方針	<p>※「アセスメント結果（ ）」「一時保護 一時保護委託（ ）」「安全確認の期限（本日中24時間以内 48時間以内（ ）日まで」「調査職員（児相： 他機関： ）他機関依頼（ ）」「立ち入り調査（要 否）」「警察官の援助要請（要 否）」「警察への情報提供（ア）緊急保護（イ）訪問等拒否（ウ）48H困難（エ）家庭復帰（オ）所長判断」を記載。加えて、詳細を自由記述するスペースあり。</p>		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
出席者			
新規・（ ）回目			
ケース番号	○		
世帯等状況			
家族関係図	○ ※「虐待の内容」欄に記載	○ ※「家族構成図」という欄名	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態	○ ※「保護者」欄に「住居状況」というサブ項目を設定。「自宅 民間住宅 公営住宅 その他（ ）」「一戸建て 集合住宅 その他（ ）」を選択。		
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			○ ※「対象世帯」欄に記載
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
虐待種別			
面前DV			
安全確認	<p>○</p> <p>※「①安全確認日時 月 日 (曜) / 確認者: 1 児相確認 2 依頼確認 3 受理時確認済 4 その他 (状況判断等による)」</p> <p>「②期限内の安全確認が困難な理由 ()」</p>		<p>○</p> <p>※「安否確認状況」という欄に「本児」を含め6名まで「氏名」「安否確認 (確認日・確認時間)」「確認期間 (分類・機関名)」「確認」を記載</p>
日時			
状況			
方法			
初期調査			○
市町村の情報 (住基・検診・予防接種)			※「情報収集 (予定含む)」という欄に「関係機関名」「情報収集日」「対象児童」を3つまで記載。
所属調査 (保・幼・小・中・高校・その他)			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)	○		
援助方針会議			
開催年月日	○		
協議・記載	○		
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待	○		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度	○		
危惧有 危惧 無	○		
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())	○		
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()	○		
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断	○		
保護者面談予定			
面談日			○
面談方法			○
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			○
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	34	35	36
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
厚生労働省様式の項目	※「児童虐待通告受付票」という名前	※「虐待通告受付票」という名前	
聴取者	○ ※「受付年月日」に併記。	○ ※「通告受付者」という欄名。「担当」も併記	○
受理年月日		○ ※「通告受付日時」という欄名。自由記述する形式。	○ ※「受付日時」という欄名。自由記述する形式
元号年月日	○		
曜日	○		
午前・午後 時 分	○		
子ども	※「児童名」という欄名	○ ※「対象家庭情報 住民基本台帳調査+α」という欄に「住所」「連絡先」および最大6名の世帯員について「氏名」「生年月日」「年齢」「性別」「続柄」「虐待者」「職業・所属」「療育手帳」「ケース番号」を記載し、「対象児童に✓」をいれる	※3名まで記載
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし		○
生年月日	○ ※自由記述する形式		○ ※「生年月日（年齢）」という項目に自由記述
元号年月日			
() 歳			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37
男・女	○ ※「性別」という項目名
住所	○
就学状況	○ ※「所属」という項目に自由記述する形式
未就学／保・幼・小・中・高校	
年 組	
担任名	
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態	
保護者（各2欄）	※ 1名分のみの情報を記載
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし

39
○ ※「性別」という項目に自由記述。
○ ※独立した欄として設定。
○ ※自由記述する形式。加えて「子ども」欄には「続柄」という項目もあり
○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37		39
職業	○		○
続柄・年齢	○ ※「年齢」はなし。別に「生年月日」という項目あり		○
住所	○ ※「児童に同じ」という選択肢あり。違う場合のみ記載する形式。		
電話	○		
虐待内容	○ ※「主訴」という欄に「○からの虐待の疑い」を記載した上で、詳細を自由記述する形式。また、「通報者の氏名／連絡先が確認できない場合は次の内容を確認」という欄に「通報者が虐待に気づいた時期／および虐待の頻度：年月頃から／週・日に回」を記載	○ ※「虐待の具体的内容と事実経過(5W1H)」という欄に自由記述する形式	○ ※「主訴」という欄に自由記述
誰から			
いつから			
頻度は			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		
どんなふうに	<p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">※「虐待の分類」という欄に自由記述する形式</p>	
虐待の種類		
主・従		
身体的		
性的		
ネグレクト		
心理的		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
子どもの状況	○ ※「通報者の氏名／連絡先が確認できない場合は次の内容を確認」という欄に「虐待を受けている児童の様子」という項目があり、「外傷 有・無（部位： 程度：）」「健康状態・発育状態（良・不良：）」「身体の汚れ（有・無）」「衣服の汚れ（有・無）」「児童の普段の様子（落ち着きがない・おどおどしている・表情が乏しい・徘徊・万引き・暴力行為）」を記載。	○ ※「子ども・保護者の具体的な言動」という欄名に自由記述する形式。加えて「外傷」「健康状態不良」「発育状態不良」「身体の汚れ、臭い」「衣服の汚れ」「落ち着きがない」「おどおどしている」「泣き声」「表情が乏しい」「徘徊」「万引き」「暴力行為」「自傷行為」「家に帰りがたらない」「ぐ犯・触法行為」のそれぞれに、該当する場合はチェックを入れる	○ ※自由記述する形式
現在の居場所			
保育所等通園の状況			
家庭の状況	○ ※「通報者の氏名／連絡先が確認できない場合は次の内容を確認」という欄に「家族の様子」という項目があり、「児童への日常の接し方（大声で叱る・「生まれてこなければ良かった、何をやってもぐず、のろま」等と話す・無視する・にらみつける・その他（）」「近隣との付き合い（親密・多少あり・あまりない・全くない）」を記載。		○ ※「家族の状況及び子どもの家庭環境」という欄名。自由記述する形式
家族内の協力者			
家族以外の協力者			
きょうだいの有無			
同居家族		○ ※「ジェノグラム・家族関係」という欄にジェノグラムを記載。加えて「現在DVあり」「過去にDVあり」「夫婦不仲」「内縁」「別居・離婚」「家族構成の変化」「借金または生活苦」「きょうだいへの虐待のおそれ」のそれぞれに、該当する場合はチェックを入れる	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
情報源と保護者の了解			○ ※「情報源」という独立した欄。 自由記述する形式
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した			
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた			
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）			
通告者	※「通報者」という欄名		
氏名	○	○	○
住所・電話	○ ※それぞれ独立した項目	○ ※「住所」「連絡先」とそれぞれ 独立した項目	○ ※それぞれ独立した項目
関係	○ ※自由記述する形式	○ ※「自由記述する形式」	○ ※自由記述する形式
家族			
近隣			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番			
学校			
保育所			
病院			
保健所			
児童委員			
警察			
通告意図		○ ※「通告の意図・目的」という項目に自由記述する形式	○ ※自由記述する形式
子どもの保護			
調査			
相談			
調査協力		○ ※「今後の協力の可否」という項目に自由記述する形式。加えて「通告者」欄には「通告者分類」	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	という項目もあり。	39
調査協力 (諾・否)			○ ※自由記述する形式
当所からの連絡 (諾・否)			○ ※自由記述する形式
通告者への対応			
自機関で実態把握 する			
その他 ()			※加えて「通告者」欄には「虐待者に明かす」「通告を知らせている人」という項目あり
決済	○		
年月日	※「供覧」という欄名。「日付」はなし。各職位の押印欄のみ。		
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「通報者の氏名／連絡先が確認できない場合は次の内容を確認」という欄の「虐待している人は誰か(複数の場合あり)」という項目で「父・母・それ以外の家族()」を記載。		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
受理会議			
開催年月日			
対応方針			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
出席者			
新規・（ ）回目			○ ※「過去の相談履歴」という欄名
ケース番号			○
世帯等状況			
家族関係図			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			○ ※「主担当機関」という欄名。 「電話番号」を併記。
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象		○ ※「虐待種別・重症度評価」という欄名。それぞれの虐待種別について「最重度」「重度」「中度」「軽度」をチェック。各種別、どういったものがどの重症度にあてはまるかの例示あり	
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37		39
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			○
生活保護受給		○ ※「生活保護受給の有無」という欄名	
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
虐待種別			
面前DV			
安全確認		○ ※「児童相談所」「学校」「保育所・幼稚園」「子どもルーム」「民生委員」「主任児童委員」「保健福祉センター」「病院」「警察」「その他」について「安否」「調査」をチェック	
日時			
状況			
方法			
初期調査		○	
市町村の情報（住基・検診・予防接種）		※「児童相談所」「学校」「保育所・幼稚園」「子どもルーム」「民生委員」「主任児童委員」「保健福祉センター」「病院」「警察」「その他」について「安否」「調査」をチェック	
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
連絡者			
受付署・者			
担当者			○ ※「主担当・グループ」という欄名
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理			○ ※自由記述する方式
(/)	○ ※元号年月日を記載		
継続指導・助言指導・調査中・()	○ ※自由記述する形式		
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷	○		
不明・無・有	※「通報者の氏名／連絡先が確認できない場合は次の内容を確認！		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		38	39
外傷の状態	じさない場合は次の内容を確認 という欄の「虐待を受けている児 童の様子」という項目に「外傷 有・無（部位： 程度： ）」を 記載。		
①部位 cm ×cm色 ②部位 cm ×cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・済			
受診			
未・ 否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			○ ※「経路」という欄名
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度		○ ※「虐待種別・重症度評価」とい う欄名。それぞれの虐待種別につ いて「最重度」「重度」「中度」 「軽度」をチェック。各種別、ど ういったものがどの重症度にあて はまるかの例示あり	
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			○
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	37	38	39
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
厚生労働省様式の項目	※「虐待通報受付票」という名前		
聴取者	○ ※「受付者」という名前。「通報内容」欄の「受理日時」に記載。		○ ※「担当班」を枠外に記載
受理年月日	※「受理日時」という名前。「通報内容」欄のサブ項目		
元号年月日	○	○	○
曜日	○	○	○
午前・午後 時分	○ ※「受理日時」には受付者氏名も記載	○	○ ※「午前・午後」はなし。加えて、「方法」を記載
子ども	※「こどもの家庭状況」という欄名。複数記載し、「被虐待児には◎」をつける	※「被虐待児童」という欄名	※4名まで記載
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日			
元号年月日	○ ※自由記述する形式	○ ※元号はなし	○
() 歳	○ ※「年齢」という項目に記載	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
男・女	○ ※「性別」という項目に自由記述。	○	
住所	○	○	○
就学状況	○ ※「学籍など」という項目に自由記述する形式。加えて「こどもの家庭状況」欄には「家族（保護者）」の「氏名」「性別」「年齢」「生年月日」「学籍など」、および「ジェノグラム」「電話」も記載	○ ※自由記述する形式。	○ ※「所属」を自由記述する形式
未就学／保・幼・小・中・高校			
年 組			
担任名			
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態			
保護者（各2欄）	※「こどもの家庭状況」欄に記載	※「家庭状況」欄に2名分の続柄、氏名、生年月日、年齢、職業を記載。	
氏名・ふりがな	○		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
職業	○ ※「学籍など」という項目に自由記述する形式。		○
続柄・年齢	○ ※「年齢」のみ。「続柄」はなし。		○ ※加えて、生年月日の元号年月日を記載
住所	○		○ ※「居所」という項目名
電話	○		○
虐待内容	※「虐待の状況」という欄名	※「通告内容」という欄名	※「通告の内容」という欄名
誰から	○ ※「虐待者」という項目名。「実父」「実母」「兄弟」「同居人（）」「養父」「養母」「他（）」から選択	○	○
いつから	○	○	○
頻度は	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
どんなふうに	※「具体的な内容 心配な情報と安全な情報の両方を聴取」という欄が独立して設定されている	○ ※「どの様な」という項目名。加えて、「子どもの現況」「近所の風評等は」という項目あり。	○
虐待の種類	※「虐待の状況」欄のサブ項目		○ ※「虐待統計記入欄」の「主たる虐待種別」で「身体的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」「心理的虐待」から選択。加えて、「心理的虐待」を選んだ場合、「暴力の目撃等」「DVによる心理的虐待」というサブチェック項目あり
主・従			
身体的	○		
性的	○		
ネグレクト	○		
心理的	○ ※「他（）」という選択肢もあり。加えて、「虐待の状況」欄には「時間帯 時～時頃」「現在状況 今も続いている 今は止んでいる こどもの居場所…自宅・屋外・他（）」「関係機関 保育園 幼稚園 区保健福祉センター 病院 民生児童委員 福祉施設（）」他（）」という項目あり。		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
子どもの状況		○ ※「通告内容」の欄に「子どもの現況」という項目あり	
現在の居場所	○ ※「虐待の状況」欄の「現在状況」に記載		○
保育所等通園の状況			○
家庭の状況		※「家庭状況」という欄名	
家族内の協力者			○ ※「家族内の協力者」という項目名
家族以外の協力者			○
きょうだいの有無			○
同居家族		○ ※「ジェノグラム」を記載。加えて、2名分の続柄、氏名、生年月日、年齢、職業と、「住居状況」を記載する項目あり	○ ※「同居の家族構成」という項目名。加えて、「DV被害等」を記載する項目あり。また、「虐待統計記入欄」の「家族構成」という項目で、「実父母」「父子」「母子」「実父継母」「継父実母」「その他」を選択。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○	○
通告者は 関係 者()から 聞いた		○	○
保護者は この 通告を(承知・拒 否・知らせていな い)		○ ※「知らせていない」ではなく 「知らない」という選択肢。	○ ※「知らせた」「知らせていな い」「不明」という選択肢
通告者	※「通報内容」欄に記載		
氏名	○ ※「通報者氏名」という項目名	○	○
住所・電話	○ ※「電話」ではなく「連絡先」と いう項目名	○	○ ※「問合わせ」も併記
関係	○ ※自由記述する形式	○ ※自由記述する形式	○ ※自由記述する形式
家族			
近隣			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番			
学校			
保育所			
病院			
保健所			
児童委員			
警察			
通告意図	※「通報意図」という項目名	○ ※自由記述する形式	※加えて「匿名配慮」「その他通告者の特徴など」を記載する項目あり
子どもの保護	○ ※「緊急保護」という選択肢名		
調査	○ ※「調査・対応の依頼」という選択肢名		
相談	○ ※「対応の協議」という選択肢名。加えて「他（）」という選択肢あり。		
調査協力		○ ※自由記述する形式	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40		
調査協力 (諾・否)			
当所からの連絡 (諾・否)			
通告者への対応	○ ※「情報取り扱い確認」という欄で「通告者への連絡の謝意。調査開始後はプライバシーにかかわる情報のため、通告者に詳細をお伝えすることは出来ない」(ママ)を確認。…済・未」を選択	○ ※「所内対応」という欄名で、自由記述する形式	
自機関で実態把握する			
その他 ()			
決済		○	○
年月日		※日付は無し。各職位の押印欄のみ	※日付は無し。各職位の押印欄のみ
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「虐待の状況」欄の「虐待者」で「実父」「実母」「兄弟」「同居人()」「養父」「養母」「他()」を選択		○ ※「虐待統計記入欄」の「主たる虐待」で「実父」「実父以外の父親」「実母」「実母以外の母親」「その他」を選択。加えて「相談者自身が虐待」というチェック項目あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
受理会議			
開催年月日			<p style="text-align: center;">○ ※この項目のみ別立て</p>
対応方針			<p style="text-align: center;">○</p> <p>※決定事項という項目に「一時保護のアセス」を記入した上で、「家族状況等を確認（住基照会等）」「児童の所属集団への情報収集」「主任児童委員（児童委員）に調査依頼」「通報者へ虐待内容等の再確認」「通報者宅へ訪問調査」「関係機関（ ）へ協力依頼」「訪問実施（家庭、所属、その他）」「健診状況確認」「安全確認（ ）」「その他決定事項、方針等」「警察への情報提供」をチェックで選択する形式。</p>

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
出席者			○ ※各職位にチェックを入れる形式。加えて、「会議経過・決定事項」「記録者」を自由記述する項目あり
新規・（ ）回目		○	○ ※「係属歴」という欄に「兎相」「子セン」を自由記述する項目あり
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図	○ ※「こどもの家庭状況」欄に「ジェノグラム」を記載	○ 「家庭状況」欄に「ジェノグラム」を記載	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
世帯特記事項			○ ※「特記事項」という独立した欄
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況	○ ※「虐待の状況」欄内の「関係機関」という項目で「保育園」「幼稚園」「区保健福祉センター」「病院」「民生児童委員」「福祉施設（ ）」「他（ ）」を選択。		○ ※「所属への係属開始の連絡」という欄名で「名簿記載」「連絡不要」を選択
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態		○ ※「家庭状況」欄に「住居状況」という項目あり	
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住 基・検診・予防接 種）			
所属調査（保・ 幼・小・中・高校・ その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			○ ※「虐待統計記入欄」という欄の 「相談経路」というサブ項目で 「関係機関」「通告者の続柄」を 選択。
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
ネグレクト再掲			○ ※「主たる虐待種別」で「ネグレクト」を選んだ場合のみ記入。 「同居人の虐待種別」を「身体的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」「心理的虐待」から、「同居人虐待者」を「きょうだい」「祖父母」「その他親族」「保護者交際相手（男）」「保護者交際相手（女）」「その他」から選択。
虐待の背景 主なもの1つ			○ ※「保護者：精神病」「保護者：精神病以外の精神疾患」「保護者：精神疾患の疑い」「保護者：知的障害」「保護者：未熟（未成年）」「保護者：未熟（その他）」「保護者：依存症（アルコール）」「保護者：依存症（薬物等）」「保護者：被虐待歴」「保護者：暴力的性格」「対人葛藤：パートナー（DV）」「対人葛藤：パートナー（DV以外）」「対人葛藤：親子間（育児不安）」「対人葛藤：親子間（一方的しつけ）」「対人葛藤：親子間（その他）」「親族間」「家庭：経済的困窮」「社会的孤立」「原因不明」から1つ選択
送致			○ ※「市町村からの送致」「書面後日」をチェック
通告			○ ※「警察署からの通告」「一時保護実施」をチェック。加えて、「警察署からの通告」の場合には、「書面後日」「書面なし」をチェック
虐待通告とする・要保護通告とする・検討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	40	41	42
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
厚生労働省様式の項目	※虐待通告（相談）受付票という名前		※「虐待通告受付票」という名前
聴取者	○ ※「受理者」という欄名	○ ※「通告受理者」という欄名。加えて、「受理・CA班」という欄もあり	○
受理年月日			
元号年月日	○ ※「受理者」という欄名	○	○
曜日	○ ※「受理者」という欄名	○	○
午前・午後 時分	○ ※「午前・午後」はなし	○ ※「午前・午後」はなし。「24時間表記」と指定あり	○ ※「午前・午後」はなし。
子ども	※「被虐待児童」という欄名。4名まで記載	※「被虐待児童」という欄名。3名まで記載	※「被虐待児」という欄名
氏名・ふりがな	○	○	○ ※「ふりがな」はなし
生年月日			
元号年月日	○	○	○
() 歳	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
男・女	○	○	○
住所	○	○ ※「被虐待児童」とは独立した欄として設定。「電話：父・母・他 []」も選択	○ ※「TEL」も併記
就学状況	※「通学状況」という項目名		
未就学／保・幼・小・中・高校	○	○	○
年 組	○ ※「年」のみ。「組」はなし	○ ※「年」のみ。「組」はなし	○ ※「年」のみ。「組」はなし
担任名			
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態		○ ※加えて、『被虐待児童』欄には「目視」の元号年月日を記載する項目、「痣傷」の有無を選択する項目、「虐待種別 主◎ 従○」を「身」「性」「ネ」「心」に記載する項目あり	
保護者（各2欄）	※「虐待者」という欄名		※1名分のみ
氏名・ふりがな	○	○	○ ※「ふりがな」はなし

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
職業	○	○	○
続柄・年齢	○ ※「続柄」ではなく「関係」という項目名。「実父」「実母」「養父」「養母」「継父」「継母」「同居人()」「他()」から選択	○ ※続柄は「[実・養・継]父・他[]」「[実・養・継]母・他[]」から選択。加えて、生年月日も記載	○ ※生まれの「元号」「年」「月」も併記
住所			
電話	※加えて「男・女」も選択	※加えて、「生活保護 有・無」を選択	※加えて、「住居状況」を「アパート」「マンション」「借家」「公営住宅」「戸建」から選択
虐待内容		※「通告の内容」という欄名	
誰から		○ ※「主たる虐待者」という項目名	
いつから	○	○	○
頻度は	○	○ ※「ほぼ毎日」「3日に1回程度」「週1回」「月1回」「他[]」から選択	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
どんなふうに	○ ※加えて、「どんなふう」「心配なこと」「痣傷部位と程度」と記入。さらに、「身体」「性的」「ネグ」「心理」「その他」にチェック。	○ ※「具体的な内容」を自由記述。加えて、「情報源 [目撃・音等 [] から推測・関係者からの情報]」「家族構成 [ジェノグラム]」を記載	○ ※「どのように」「どうされたか」を記載
虐待の種類	○ ※「虐待内容」欄で「身体」「性的」「ネグ」「心理」「その他」にチェック。	○ ※「被虐待児童」欄に記載	
主・従			
身体的			
性的			
ネグレクト			
心理的			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
子どもの状況	※「子どもの様子」という欄名。		
現在の居場所	○ ※「今いる所（）」という項目	○ ※独立した欄として設定	○ ※「家庭の状況」欄のサブ項目として設定
保育所等通園の状況	※加えて「表情が暗い」「痩せ」「低身長」「汚れた服」「いつも空腹」「乱暴」「意地悪」「孤独」「知的レベル（）」「学業成績（）」「友人関係（）」「他特筆すべきこと」という選択肢、記入項目あり。		
家庭の状況	○ ※「家族構成」という欄に「家庭状況、近隣の風評」を記載		
家族内の協力者			○ ※「この家族の協力者」という項目名
家族以外の協力者			
きょうだいの有無			
同居家族			○ ※「家族状況」という独立した欄に「続柄」「氏名」「性年月日」「年齢」「学校・職業等」「備考」を6名まで記載。加えて「近隣の風評」という項目あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○	○ ※「通告の内容」欄に記載	○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた	○		○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）	○ ※「知らせていない」ではなく 「知らない」という選択肢。	○ ※「保護者の了解」という名の独 立した欄。「知らせていない」で はなく「知らない」という選択 肢。	○
通告者			
氏名	○	○	○
住所・電話	○	○	○
関係			
家族	○ ※具体的に誰かも記載	○	○
近隣	○	○ ※「近隣知人」という選択肢名	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
学校	○	○	○
保育所	○ ※「保育園」という選択肢名	○	○
病院	○	○ ※「医療」という選択肢名	○
保健所		○	○
児童委員	○ ※「児委」という選択肢名	○	○ ※「民生児童委員」という選択肢名
警察	○ ※加えて、「幼稚園」「健セ」「福事所」「他（）」という選択肢あり	○ ※加えて、「福祉事務所〔県・市〕」「市町村保健C」「県他」「市町村他」「幼稚園」「教委」「家族〔虐待者本人・それ以外〕」「親戚」「児童本人」という選択肢あり	※ 加えて「親族」「福祉」〔保健福祉センター〕「その他（）」という選択肢あり
通告意図			
子どもの保護	○	○	○
調査	○	○	○
相談	○ ※加えて、「情報提供」という選択肢あり	○ ※加えて、「情報提供」という選択肢あり	○
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
調査協力 (諾・否)	○	○	○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※「当初からの問い合わせ」という項目名。加えて、「結果連絡(要・不要)」という項目あり	○ ※加えて、「通告経路」という項目あり	○
通告者への対応			
自機関で実態把握する		○ ※「児童相談所で実態把握する」という選択肢	○ ※「児童相談所で実態把握する」という選択肢
その他()		○	○ ※「児童相談所で実態把握する」という選択肢
決済			
年月日			
厚労省の様式にはない項目			
虐待者			○ ※「実父」「実母」「()父」「()母」から選択

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
受理会議			
開催年月日	○ ※「時」「分」も記載	○	○ ※「所内対応」欄に「緊急受理会議」の「月」「日」を記載
対応方針	○ ※「決定事項」という項目名		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
出席者	○ ※各職位を選択する形式		
新規・（ ）回目			○ ※「区との関わり」という欄名
ケース番号			
世帯等状況			
家族関係図		○ ※「通告の内容」欄に「家族構成 [ジェノグラム]」を記載	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			○ ※「保護者」欄内の「住居状況」で「アパート」「マンション」「借家」「公営住宅」「戸建」を選択
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況			
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
虐待種別			
面前DV			
安全確認			
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）			
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			○ ※「所内対応」欄に記載
虐待と認められた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理			
(/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・ その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・ 記載			
虐待認定			
種別 主・ 従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]		○ ※欄外で選択	
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []		○ ※欄外で選択	
経過報告→要・否		○ ※欄外で選択	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	43	44	45
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
厚生労働省様式の項目	※「被虐待児登録受付票」という名称。「新再」以外のすべての欄が自由記述形式。		※「虐待通告受理票」という名称。
聴取者	○ ※「担当者」という欄名。「ケースNO」「担当者」「書記担当者」「ペア担当者」「受付番号」を併記	○ ※「受付者」を欄外に記載。「SV」「CW」も併記	○ ※「受理者」という欄名。
受理年月日	○ ※「受付年月日」という欄名	○ ※自由記述形式。「～」と、期間で書けるようになっている	
元号年月日			○
曜日			○
午前・午後 時分			○
子ども	※「児童」という欄名	※「児童」という欄名	※「子どもについて」という欄名。4人まで記載
氏名・ふりがな	○	○ ※「ふりがな」はなし	○
生年月日			※それぞれ独立した項目として設定
元号年月日	○	○ ※自由記述形式	○
() 歳		○	○ ※「虐待の内容及び子どもの状態」という欄にも「年齢」を記載。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
男・女	○ ※「性別」という独立した項目として設定	○ ※「性別」という独立した項目として設定	○ ※「性別」という項目名。「男」「女」から選択。「虐待の内容及び子どもの状態」という欄にも「性別」を記載。
住所	○	○	○ ※「虐待の内容及び子どもの状態」という欄にも「住所」を記載。
就学状況			
未就学／保・幼・小・中・高校	○ ※「所属」という項目名		○ ※「所属」という自由記述項目。「虐待の内容及び子どもの状態」という欄にも「所属」を記載。
年 組		○ ※「学年等」という独立した項目として設定	○ ※「学年」という項目名。「年生」を記載。
担任名			
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態			※加えて「保護者氏名」を記載する項目と「続柄」を「実父」「継父」「実母」「継母」「その他（ ）」から選択する項目あり。
保護者（各2欄）		※1名分のみ	※「虐待者について」という欄名。
氏名・ふりがな		○ ※「ふりがな」はなし	○ ※「ふりがな」はなし

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
職業		○	○
続柄・年齢		○	○ ※「年齢」はなし。「実父」「継父」「実母」「継母」「その他()」から選択
住所		○	○ ※「児童と同じ」「児童と別」を選択した上で、後者の場合に記載
電話		○ ※「電話番号」という項目名	○ ※加えて「勤務先」を記載する項目あり
虐待内容	○ ※「通告内容」という欄名。	○ ※「相談・通告内容」という欄名。自由記述形式。	○ ※「虐待の内容及び子どもの状態」という欄名。「得た情報のまま記入する」という注意書きあり。「虐待の種別(B・N・S・E)」「年齢」「時間帯」「虐待者」「時期(いつ頃から気づいたか)」「性別」「家族構成」「住所」「名前」「所属」「親子関係」「家族の状況」「きっかけ」「(どうして今日通告したか)」を記載
誰から			
いつから			
頻度は			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番			
どんなふうに			
虐待の種類	○ ※「虐待種別」という欄名	○ ※「相談・通告者」欄のサブ項目として「種別」という自由記述項目あり。また、「相談・通告分類」欄の「統計分類」にも「虐待種別」を記載。	
主・従			
身体的			
性的			
ネグレクト			
心理的			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47
子どもの状況		
現在の居場所		
保育所等通園の状況		
家庭の状況		
家族内の協力者		
家族以外の協力者		
きょうだいの有無		
同居家族	<p>○</p> <p>※「家族構成」という独立した欄に「続柄」「氏名」「生年月日」「職業、学校、学年等」を8名まで記載。「家族図」も併記</p>	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した			
通告者は 関係 者()から 聞いた			
保護者は この 通告を(承知・拒 否・知らせていな い)			
通告者		※「相談・通告者」という欄名	※「通告者について」という欄名
氏名	○ ※「通告者(機関名)」という欄 名	○	○
住所・電話		○	○ ※それぞれ独立した項目として設 定。「電話」の項目では「表示」 「申告」を選択
関係			○ ※「所属/児童との関係」という 項目名。自由記述形式。加えて、 「男・女」を選択する項目あり。
家族			
近隣			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	
学校			
保育所			
病院			
保健所			
児童委員			
警察			
通告意図			
子どもの保護			
調査			
相談			
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
調査協力 (諾・否)			
当所からの連絡 (諾・否)		○ ※「こ児からの連絡」という項目で「否」に○をつける形式。加えて、「聞き取り」[メールアドレス]という項目あり	
通告者への対応			○ ※「通告者への回答」という欄名。「心配なことがあればまた連絡してください。」「当初から連絡させてもらうことがあるので電話番号を教えてください。」「会えないときは協力をお願いしたい。(オートロック解除・家の特定等)」「通告者のプライバシーは守られます。」「調査内容はお答えできません。」「その他()」にチェックを入れる形式。
自機関で実態把握する			
その他 ()			
決済			
年月日			
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「主たる虐待者」という欄名	○ ※「相談・通告分類」欄の「統計分類」内に「主な虐待者」を記載。	○ ※「虐待の内容及び子どもの状態」という欄に「虐待者」を記載。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
受理会議			
開催年月日	○		
対応方針		○ ※「助言・対応」という独立した欄。自由記述形式。また、欄外にも「対応方針」という項目があり、「安全確認」「その他」から選択。	○ ※「初期対応方針」欄に、「対応方針」を記載。また、「当面の対応方針」という欄もあり、「継続調査（理由：）」「一時保護」「調査・私道により終結（名前：、理由：）」「モニタリング（要対協ケース）名前：、理由：）」「虐待なしのため終結」「他の係で対応」「今回は不明のため次回の通告を待つ」「その他」を選択し、「記入者」と「確認日（元号年月日）」を記載。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
出席者	○ ※加えて「会議名」を記載		○ ※「初期対応方針」欄に、「受理 会議参加者」を記載
新規・（ ）回 目			○ ※「処理欄」という欄で「相談受 付（新規・再開）」か「本票の み」かを選択
ケース番号	○ ※「ケースNo」という欄名		
世帯等状況			
家族関係図			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度			
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）			
住居形態			
階			
オートロック有・無			
戸建て・公営住・マンション・アパート名			
本籍地			
備考			
生活保護受給			
受理状況	○		
受付番号			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
虐待種別			
面前DV			
安全確認	○ ※「安全確認を行った者」という欄名。自由記述する形式。	○ ※欄外に「安全確認」「確認結果」「確認方法」という項目あり。「安全確認」は「要」「否」から選択。また、同じく欄外の「対応方針」という項目の中にも「安全確認」という選択肢あり。「確認結果」は、「目視確認済」か否かをチェックした上で、「確認者」「確認日」を記載。「確認方法」は「家庭訪問」「他機関（ ）」「その他」から選択。	○ ※「初期対応方針」欄に「安全確認の方法」という項目があり、「子ども相談所で直接確認」（「訪問年月日（曜日）」「訪問時間」「被面接者」「場所」「担当者」を3回分まで記載）」「間接安全確認」（「機関名」「確認日」を記載）「立ち入り検査」をチェックした上で、「確認結果」を「問題あり」「問題なし」から選択肢、「確認者」と「確認日（元号年月日）」を記載
日時			
状況			
方法			
初期調査	○ ※「初期調査・初期介入」という欄名	○ ※「基礎調査」という欄名。「済」「不要」から選択。	
市町村の情報（住基・検診・予防接種）			
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）			
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
連絡者			
受付署・者			
担当者		○ ※欄外に「担当」という項目があり「虐待対応担当」「地区・障害担当」から選択	
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別	○ ※独立した欄として設定	○ ※「相談・通告分類」欄の「統計分類」内に記載	
処理 (/)		○ ※「処理」という独立した欄。また、欄外にも「処理」という項目があり、「助言指導」「その他」から選択	○ ※「処理状況」という欄名で、「相談受付(新規・再開)」か「本票のみ」かを選択。加えて、欄外にも「処理」という項目があり、「助言指導」「その他」から選択。
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・ 否定・ 済			
受診			
未・ 否定・ 済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路	○ ※「相談経路」という欄名	○ ※「相談・通告分類」欄の「統計 分類」内に「相談経路」を記載。	
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）			
警察への情報 提供			
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）			
区分			
虐待統計記入欄		※「相談・通告分類」欄内の「統 計分類」というサブ項目	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
ネグレクト再掲		○	
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告		※加えて「養護理由」「非行理由」「障害理由」「虐待児年齢」「虐待種別」「心理的虐待（再掲）」「区と重複」「泣き声通報無」「DV含む 無」を記載、選択	
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []	○ ※「SOS電話相談」というチェック欄		
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	46	47	48
虐待登録番号	○		
次期判定会議日	○		
受電種別		○	
相談・通告分類			
通報住所入力 済		○	
INDEX貼付 済		○	
INDEX貼付 済 No.		○	
その他		○	
世帯特定		○ ※欄外の項目。「済」「不要」か ら選択。	
承認結果		○ ※欄外の項目。「事実なし (ショート)」「特定不能」「地 区(区)で対応」から選択	
結果入力		○ ※欄外の項目。「済」か否かに○	
承認日		○ ※欄外の項目	
承認入力		○ ※欄外の項目。「済」か否かに○	
発見者(通告者と異 なる場合に留意)			
虐待相談・通告の有 無 有・無			
他相談の有無 (有・無 相談種別)			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
厚生労働省様式の項目	※「虐待通告受付票 令和2年度」という名称	※「虐待通告受付票兼受理会議簿」という名称	※「虐待通告受付票」という名称
聴取者	○	○	○
受理年月日			
元号年月日	○	○	○
曜日	○	○	○
午前・午後 時分	○ ※加えて「通告方法」を「来所」「電話」「文書」「会議」から選択する項目あり	○ ※加えて「()分間」を記載する項目あり	○
子ども		※「被虐待児童」という欄名	※「被虐待児童」という欄名
氏名・ふりがな	○	○	○
生年月日	※「氏名」の項目に併記		
元号年月日	○	○	○
() 歳	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
男・女	○	○	○
住所	○ ※「地区担当」を併記	○	○
就学状況			
未就学／保・ 幼・小・中・高校	○	○	○
年 組	○	○ ※「年」のみ。「組」はなし	○ ※「年」のみ。「組」はなし
担任名	○	○ ※「担任氏名」という項目名	
出席状況：良 好 欠席がち 不登 校状態	※加えて「ケース番号（新◎・再 ○・継）」を記載する項目あり		※加えて「TEL()」を記載
保護者（各2欄）			
氏名・ふりがな	○	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
職業	○	○	○
続柄・年齢	○ ※「続柄」は「氏名」項目に併記。「年齢」は「生年月日」という項目に併記	○	○ ※「年齢」は「生年月日」に記載
住所			
電話		※加えて「住居状況」という項目で「①独立家屋・集合住宅（ ）階」「②鉄筋・木造」を選択、記載	※加えて「生年月日」「住居状況」という項目あり。前者には元号年月と年齢を記載。後者は「アパート」「マンション」「借家」「公営住宅」「戸建」から選択
虐待内容			
誰から	○	○	
いつから	○	○	
頻度は	○	○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
どんなふうに	○ ※加えて「主たる虐待者」を「父（実父・実父以外）」「母（実母・実母以外）」「その他」から 選択する項目あり	○	
虐待の種類			
主・従	○	○	
身体的	○	○	
性的	○	○	
ネグレクト	○	○	
心理的	○ ※加えて「理由」を記載	○	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
子どもの状況			
現在の居場所	○	○	
保育所等通園の状況	○ ※「学校園等の出席、通園状況」という項目名	○	
家庭の状況			
家族内の協力者	○	○	○
家族以外の協力者	○	○	○
きょうだいの有無	○	○ ※「兄弟の有無」という項目名	
同居家族	○ ※「同居家族・家族構成」という項目名。加えて「住居状況 独立家屋、集合住宅（ ）」「近隣の風評」という項目あり	○	※加えて「近隣の風評等」「子ども自身を確認した日 令和 年 月 日」を記載

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
情報源と保護者の了解			
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した	○	○	○
通告者は 関係 者()から 聞いた	○	○	○
保護者は この 通告を(承知・拒 否・知らせていな い)	○	○	○
通告者			
氏名	○	○ ※「性別」と「推定年齢」を併記	○ ※「匿名希望」を併記
住所・電話	○ ※「住所」のみ。「電話」は「電 話番号」を「調査協力」の項目に 記載	○	○ ※「匿名希望」を併記
関係			
家族		○	○
近隣	○ ※「近隣地人」という選択肢名	○	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
学校	○	○	○
保育所	○ ※「児童福祉施設（保育所・その他）」という選択肢名	○	○
病院	○ ※「医療機関」という選択肢名	○ ※「医療機関」という選択肢名	○ ※「医療機関」という選択肢名
保健所	○	○ ※「保健センター」という選択肢名	
児童委員	○	○	○ ※「主任児童委員」と「民生委員」があり
警察	○ ※加えて「虐待者本人（父・母・その他）」「虐待者以外（父・母・その他）」「親戚」「児童本人」「福祉事務所」「幼稚園」「他児相」「（ ）」という選択肢あり	○ ※加えて「福祉事務所」という選択肢あり	○ ※加えて「親族」「幼稚園」「子ども家庭相談センター」「区役所（ ）」「その他（ ）」という選択肢あり
通告意図			
子どもの保護	○	○	○
調査	○	○	○
相談	○	○	○
調査協力			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
調査協力 (諾・否)	○	○	○
当所からの連絡 (諾・否)	○ ※加えて「電話番号」を記載	○	○ ※「機関名からの連絡」という項目名
通告者への対応			
自機関で実態把握 する	○ ※「児童相談所で実態把握する」という選択肢名	○ ※「児童相談所で実態を把握する」という選択肢名	○ ※「機関名で対応する」という選択肢名
その他 ()	○ ※「児童相談所で実態把握する」という選択肢名	○	※加えて「区の保健福祉課担当係で対応する」「区の相談コーナーで対応する」という選択肢あり
決済		○	
年月日	○ ※「元号」も記載。各職位の押印欄もあり	※様式冒頭に各職位の押印欄あり。年月日は無し。	
厚労省の様式にはない項目			
虐待者	○ ※「虐待内容」欄で「主たる虐待者」を「父(実父・実父以外)」「母(実母・実母以外)」「その他」から選択		○ ※「実父」「実母」「継父」「継母」「その他()」を記載

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
受理会議	※「緊急受理会議」という欄名		
開催年月日	○ ※様式内の2カ所に記載	○ ※月日のみ。年は無し。自由記述する形式。加えて「緊急性（有・無）」「ケースの有無（継続中・相談歴有・無）」を選択する項目あり	
対応方針	○ ※「決定事項」という項目名。 「緊急性（有・無）」「児童の安全確認（確認機関： 、日時：月 日 時 分）」「1. 市町村への家族状況確認（住民票・戸籍請求）」「2. 児童の所属集団への情報収集の実施」「3. 保健部門への状況確認（子育て相談・健診・予防接種等）」「4. 主任児童委員（児童委員）、民生員への情報収集・調査依頼」「5. 通告者への虐待内容等の再確認」「6. 通告者宅への訪問調査」「7. 関係機関（ ）への情報収集・協力依頼」「8. 家庭訪問の実施」「9. その他（ ）」		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49		51
出席者	○ ※各職位、職員名を選択した上で、「地区担当」を記載		○ ※各職位を選択した上で、「虐待CW」「地区担当CW」を記載。加えて「初期対応担当者」も記載
新規・（ ）回目	○ ※「子ども」欄に「ケース番号（新◎・再○・継）」を記載	○ ※「受理会議」欄内に「ケースの有無（継続中・相談歴有・無）」を選択する項目あり	○ ※「機関名の相談履歴」という欄名。「あり」「なし」を選択
ケース番号	○ ※「子ども」欄に「ケース番号（新◎・再○・継）」を記載		
世帯等状況			
家族関係図			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
世帯特記事項			
保護者の状況			
保護者は関係機関との関わりを			
拒否している			
拒否していない			
確認できず			
他機関への通告状況			
他に状況を知る者は			
受理者の虐待軽重印象			
深刻			
重度			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
中度			
軽度			
危険薄い			
調査確認の緊急度		○ ※「受理会議」欄内に「緊急性 (有・無)」を選択する項目あり	
家族特徴（居住始 期・近所付き合い・ 勤務先・出勤時間 は）			
住居形態			
階			
オートロック 有・無			
戸建て・公営住・ マンション・アパー ト名			○ ※「保護者」欄の「住居状況」で 「アパート」「マンション」「借 家」「公営住宅」「戸建」から選 択
本籍地			
備考			○
生活保護受給			
受理状況			
受付番号	○ ※「No.」という欄名。欄外に記載		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
虐待種別			
面前DV			
安全確認		<p>○</p> <p>※「安全確認等」という欄名。 「確認年月日」の元号年月日、午前・午後、時分を記載、選択する項目、「確認を行った者」を「1 児相」「2 家族」「3 親戚」「4 近隣・知人」「5 県福祉事務所」「6 県その他」「7 市福祉事務所」「8 児童委員」「9 保健センター」「10 市その他」「11 保健所」「12 医療機関」「13 保育所」「14 その他の児童福祉施設」「15 警察」「16 幼稚園」「17 その他学校等」「18 その他」から選択する項目あり</p>	
日時			
状況			
方法			
初期調査			
市町村の情報（住基・検診・予防接種）			
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）	<p>○</p> <p>※「緊急受理会議」欄の「決定事項」に「2. 児童の所属集団への情報収集の実施」を記載</p>		
警察への情報提供			
該当・非該当			
口頭伝達			
月日			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
連絡者			
受付署・者			
担当者			
緊急一時保護			
虐待と認めた理由・背景等			
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無			
日常的に本児童の様子が確認できるか			
要対協ケース 有・無			
対応結果			
相談種別			
処理 (/)			
継続指導・助言指導・調査中・()			
対応経過及び通告機関の所見			
被虐児の状況			
外傷			
不明・無・有			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
外傷の状態			
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色			
被虐待の供述			
未・否定・済			
受診			
未・否定・済 (月 日)			
特記			
現住所転入日 (H 年 月 日)			
転入前の住所			
通告経路			
虐待者風貌容姿等			
障害・その疑い			
なし あり (身体 知的 発達 その 他)			
援助方針会議			
開催年月日			
協議・記載			
虐待認定			
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度			
危惧有 危惧 無			
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他 ())			
援助方針			
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他 ()			
警察への情報 提供			
(ア) 緊急保 護 (イ) 訪問等拒否 (ウ) 48H困難 (エ) 家庭復帰 (オ) 所長判断			
保護者面談予定			
面談日			
面談方法			
特記事項 (面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針)			
区分			
虐待統計記入欄			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
ネグレクト再掲			
虐待の背景 主な もの1つ			
送致			
通告			
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]			
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []			
経過報告→要・否			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	49	50	51
虐待登録番号			
次期判定会議日			
受電種別			
相談・通告分類			
通報住所入力 済			
INDEX貼付 済			
INDEX貼付 済 No.			
その他			
世帯特定			
承認結果			
結果入力			
承認日			
承認入力			
発見者（通告者と異なる場合に留意）			
虐待相談・通告の有無 有・無			
他相談の有無 （有・無 相談種別）			

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
厚生労働省様式の項目	※「被虐待相談受理票」という名称	※「児童虐待通告受付票」という名称
聴取者	○ ※「担当者という欄名」	○ ※「通告受付者氏名」という欄名
受理年月日		
元号年月日	○	○ ※「元号」はなし
曜日		○
午前・午後 時 分	※加えて「新規」に○をつける項目あり	○ ※加えて「No. 」を記載
子ども	※「児童氏名」という欄名。「本児」にくわえ、追加で2名まで記載可能。	※3名まで記載
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし	○
生年月日		
元号年月日	○	○
() 歳	○ ※月齢も記載	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
男・女	○ ※自由記述する形式	○ ※独立した項目として設定
住所	○ ※独立した項目として設定。保護者のものと合わせて1欄に記載。	○ ※「tel」も記載
就学状況	○ ※「学校等」という欄名で、自由記述する形式	
未就学／保・幼・小・中・高校		○ ※「幼稚園」「保育園」「少学」「中学校」を選択の上、「名」を記載
年 組		
担任名		
出席状況：良好 欠席がち 不登校状態		
保護者（各2欄）	※「保護者氏名」という欄名	※「（実・養・継）父」「（実・養・継）母」「その他（続柄）」の3名分記載
氏名・ふりがな	○ ※「ふりがな」はなし	○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
職業	○ ※「職業等」という欄名	○
続柄・年齢	○ ※続柄は自由記述する形式。年齢ではなく、生年月日の元号年月日を記載	○ ※「続柄」はなし。生まれの元号年月日も記載。
住所	○ ※独立した項目として設定。子どものもものと合わせて1欄に記載	
電話	○ ※「誰の電話か」もかけるようになっている。(例)「実母の携帯」など	※加えて「住居状況」を「アパート」「マンション」「借家」「一戸建て」「その他()」から、「生保受給」を「有」「無」から選択する項目あり
虐待内容	※「虐待の状況」という欄名	※「虐待の状況・内容」という欄名
誰から	○	
いつから	○	○ ※「いつ頃から(年月日)」という項目
頻度は	○	○ ※「虐待の頻度」という項目名。「ほぼ毎日」「3日に1度程度」「週1回程度」「月1回程度」

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
どんなふうに	※加えて「頻度」を記すように指示あり。	※加えて「情報源は ①通告者 ②その他（ ）」という項目と、「具体的な虐待の内容」を自由記述する項目あり
虐待の種類	○ ※「アセスメント」という欄名。「主たる虐待者」を記し、「身体」「放任（棄児 置き去り）」「心理的（DV）」「性的」「生命」「重度」「中度」「軽度」に○をつける形式。	※「虐待の状況・内容」欄のサブ項目として設定
主・従		
身体的		○
性的		○
ネグレクト		○
心理的		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
子どもの状況	○ ※「児童の状況（身体的、精神的）、児童の意思」という欄名。 自由記述する形式	
現在の居場所		
保育所等通園の状況		
家庭の状況	○ ※「家族構成 家族状況（生活状況、経済状況）」という欄名。 ジェノグラムと転居歴など具体的な情報を記載	※「家族構成・状況」という欄名
家族内の協力者		○ ※「家庭内での協力者の有無」という項目名。「有」「無」から選択
家族以外の協力者		
きょうだいの有無		
同居家族		○ ※「家族構成」という項目名で、ジェノグラムを記載する形式。加えて、「近隣の風評等」という項目あり。

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
情報源と保護者の了解		※「保護者の了解」という欄名
通告者は 実際 に目撃している・悲 鳴や音などを聞いて 推測した		○
通告者は 関係 者（ ）から 聞いた		○
保護者は この 通告を（承知・拒 否・知らせていな い）		○ ※「知らせていない」ではなく 「知らない」という選択肢名
通告者	○ ※「通告に至る経緯と関係機関と の関わり」という欄に自由記述す る形式	
氏名		○ ※併せて、「匿名希望の有無」を 「有」「無」から選択
住所・電話		○ ※「電話」はなし
関係		
家族		○
近隣		○ ※「近隣、知人」という選択肢名

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番
学校
保育所
病院
保健所
児童委員
警察
通告意図
子どもの保護
調査
相談
調査協力

53
○
○ ※「保育所等」という選択肢名
○
○
○
○ ※加えて「福祉事務所」「その他（）」という選択肢あり。
○
○
○ ※加えて「その他（）」という 選択肢あり

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番		53
調査協力 (諾・否)		○ ※「有(内容:)」「無」とい う選択肢名
当所からの連 絡(諾・否)		○ ※「連絡の承諾」という項目名
通告者への対応	○ ※「経過および対応状況」という 欄名で、自由記述する方式	
自機関で実態把握 する		
その他()		
決済		
年月日		
厚労省の様式にはな い項目		
虐待者		○

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
受理会議		
開催年月日		○ ※曜日も記載
対応方針	○ ※「具体的方針」という独立した欄。自由記述する形式	○ ※「通告に対する担当の意見」「検討の結果」という項目において「緊急度」「立ち入り調査」「家庭訪問の要否」「緊急一時保護の要否」「その他の対応」を記載。「緊急度」は「最重度」「重度」「中度」「軽度」「不明」から、「立ち入り調査」「家庭訪問の要否」「緊急一時保護の要否」は「要」「否」「不明」から、「その他の対応」は「①関係機関調査（ ）」「②経過観察」「③ケース検討会」「④福祉事務所送致」「⑤その他」から選択。なお、「検討の結果」の方のみ、

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
出席者		<p>○</p> <p>※「担当者」も併記。加えて「状況調査追加」「関係者」「受理会議検討内容」「福祉事務所、市への連絡（月 日：相手方）・未」を記載。</p> <p>・「状況調査追加」欄には3つまで「誰に聞いたか」「その内容」を記載。</p> <p>・「関係者」欄には「これまでの係わり」および「今後の係わり依頼」について「誰に」「どのように」を記載。</p> <p>・「受理会議検討内容」には4つまで「事項」と「結果」を記載。</p>
新規・（ ）回目	<p>○</p> <p>※「受理年月日」欄で「新規」に○をつける形式</p>	<p>○</p> <p>※「受理会議」欄の「関係者」項目に、「これまでの係わり」について「誰が」「どのように」を記載</p>
ケース番号	○	
世帯等状況		
家族関係図	<p>○</p> <p>※「家族構成 家族状況（生活状況、経済状況）」欄に記載</p>	<p>○</p> <p>※「家族構成・状況」欄の「家族構成」に記載</p>

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
世帯特記事項		
保護者の状況		
保護者は関係機関との関わりを		
拒否している		
拒否していない		
確認できず		
他機関への通告状況	○ ※「通告に至る経緯と関係機関との関わり」という欄に自由記述する形式	○ ※「受理会議」欄の「関係者」項目で「これまでの係わり」について「誰が」「どのように」を記載
他に状況を知る者は		
受理者の虐待軽重印象		○ ※「受理会議」欄の「通告に対する担当の意見」および「検討の結果」項目で「緊急度」を「最重度・重度・中度・軽度・不明」からせんたく
深刻	○	
重度	※「アセスメント」という欄で「生命」「重度」「中度」「軽	

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	「生中」「里度」「中度」「軽度」に○をつける形式。	
中度		
軽度		
危険薄い		
調査確認の緊急度		
家族特徴（居住始期・近所付き合い・勤務先・出勤時間は）		
住居形態		
階		
オートロック 有・無		
戸建て・公営住・マンション・アパート名		○ ※「保護者」欄の「住居状況」で「アパート」「マンション」「借家」「公営住宅」「戸建」から選択
本籍地		
備考		
生活保護受給		○ ※「保護者」欄の「生保受給」で「有」「無」を選択
受理状況		
受付番号		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
虐待種別		
面前DV		
安全確認	<p>○</p> <p>※「安全確認の状況（フロー図）」という欄名。「即座の対応必要」「48時間以内目視確認」「48時間以降持ち越し」「その他」を記載。</p> <p>また、リスクアセスメントについては「アセスメント」という独立した欄に「主たる虐待者」を記し、「身体」「放任（棄児置き去り）」「心理的（DV）」「性的」「生命」「重度」「中度」「軽度」に○をつけ、さらに「問題点（ハイリスク要因）」という欄に、問題点を自由記述</p>	
日時		
状況		
方法		
初期調査		
市町村の情報（住基・検診・予防接種）		
所属調査（保・幼・小・中・高校・その他）		
警察への情報提供		
該当・非該当		
口頭伝達		
月日		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
連絡者		
受付署・者		
担当者		
緊急一時保護		
虐待と認めた理由・背景等		
本児童の家庭内での他の虐待ケースの有無		
日常的に本児童の様子が確認できるか		
要対協ケース 有・無		
対応結果		
相談種別		
処理		
(/)		
継続指導・助言指導・調査中・()		
対応経過及び通告機関の所見	○ ※「経過および対応状況」という欄名で、自由記述する方式	
被虐児の状況		
外傷		
不明・無・有		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
外傷の状態		
①部位 cm × cm色 ②部位 cm × cm色 ③ 部位 cm × cm色		
被虐待の供述		
未・否定・済		
受診		
未・否定・済 (月日)		
特記		
現住所転入日 (H 年 月 日)		
転入前の住所		
通告経路	○ ※「通告に至る経緯と関係機関との 関わり」という欄に自由記述す る形式。	○ ※「() → () → () → ()」 と、4カ所まで記載する形式
虐待者風貌容姿等		
障害・その疑い		
なし あり (身体 知的 発達 その 他)		
援助方針会議		
開催年月日		
協議・記載		
虐待認定		
種別 主・従 身体的虐待 性的虐 待 ネグレクト 心 理的虐待		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
重症度 最重 度 重度 中度 軽 度		
危惧有 危惧 無		
虐待者 主・ 従 父 実・他 母 実・他 その他（ ）		
援助方針		
施設入所 里 親委託 児童福祉司 指導 継続指導 助 言指導 他機関あっ せん その他（ ）		
警察への情報 提供		
（ア）緊急保 護（イ）訪問等拒否 （ウ）48H困難 （エ）家庭復帰 （オ）所長判断		
保護者面談予定		
面談日		
面談方法		
特記事項（面談日 未定の場合はその理 由と今後の対応方 針）		
区分		
虐待統計記入欄		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
ネグレクト再掲		
虐待の背景 主な もの1つ		
送致		
通告		
虐待通告とする・要 保護通告とする・検 討 [調査後：]		
電話相談→家族環境 その他・左記以外 []		
経過報告→要・否		

表2 収集した文書様式に設定された項目の比較表

連番	52	53
虐待登録番号		
次期判定会議日		
受電種別		
相談・通告分類		
通報住所入力 済		
INDEX貼付 済		
INDEX貼付 済 No.		
その他		
世帯特定		
承認結果		
結果入力		
承認日		
承認入力		
発見者（通告者と異なる場合に留意）		
虐待相談・通告の有無 有・無		
他相談の有無 （有・無 相談種別）		

所内研究報告 第92号

「1億総活躍社会」実現に向けた総合的研究
すべての子どもの未来を築く子ども・子育て支援に
に向けた実証研究班
令和2（2020）年度報告書

令和3（2021）年3月31日 第1版発行

編集兼発行者

国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル
6F

TEL : 03-3595-2984（代表） FAX : 03-3591-4816

WEB: <http://www.ipss.go.jp/>

Copyright ©2021 National Institute of Population and Social
Security Research,

All Rights Reserved